

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

(この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開されます。また、学内発行の留学関連冊子等に情報が掲載されることがありますので、ご了承下さい。なお、その際は匿名で公開します。)

研修名	ベトナム・インターンシップ
------------	---------------

留学費用項目 (申込時の料金は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	50000 円	カフェによく行ったため少々高額
図書費	0 円	
学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	2000 円	
現地通学費	1500 円	(研修先まで 10 分)
教養娯楽費	50000 円	ツアー代金を含む
被服費	3000 円	洗濯代を含む
雑費	40000 円	お土産やパスポート取得費用
その他	円	例:
その他	円	例:
合計	146500 円	

渡航準備について

1)ビザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
なし
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 現地で3万円を両替 その他用意したもの: <input type="checkbox"/> クレジットカード <input checked="" type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
現地で購入
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
加湿器、正露丸、Amazon Fire stick

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
小さい斜め掛けのバックに貴重品を携帯していたので大丈夫でした
3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
問題ありませんでした。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類

寮・アパート ホームステイ ホテル

2) 部屋の形態

個室 相部屋(同居人数 2 人)

3) 共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

エアコンの温度を下げすぎると風邪をひいてしまいます。

プログラムについて

プログラム参加前について記載してください

1) どのような目的でこのプログラムに申し込みましたか。

語学力向上とビジネススキルを身に着けるため。

2) 参加するにあたっての目標はありますか。

たくさんコミュニケーションをとること。

3) 申込時では、どのような業界で働きたいと考えましたか。

マーケティング

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1) どのような業界で実習を行いましたか。

マーケティング

2) 主要な実習内容を記載してください。

ホテルのウェブサイト进行分析し、広告や Facebook の内容を考えること。

3) 業界、仕事内容について、イメージとの違いはありましたか。日本との違いなどを感じた場合は、どう異なっていると感じたか記載してください。

服装や勤務時間などが自由で、フレンドリーでした。

4) プログラムや実習内容について、良かった点、悪い点(大変だった点)を記載してください。

・良かった点

日本人と一緒に行動できるためホームシックにならず、自由時間が多いため色々な場所を観光できる

・悪かった点

英語を使わなくてもよい状況が多いため、日本でもできるのではないかと思う作業があった。

5) プログラム参加の成果等を記載してください。

ウェブマーケティングの基本的な知識が得られた。

英語力／コミュニケーションについて

1) 申込時の英語スコアを記載してください。

670

2) 渡航前に語学力向上に向け、どのような取り組みを行いましたか。

DMM 英会話のレッスンを受けた。

3) 実習/ホームステイでのコミュニケーションや英語力の向上について、工夫したこと、成果などを自由に記載してください。

日本人とも仕事中は英語を使って会話をした。

留学体験記

研修や生活全般、今後の展望等について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

このインターンシップは語学留学がメインではないため、単純に英語を話せるようになりたいのならあまりオススメはできません。しかし、私のインターン先では、上司が毎日英語でマーケティングのレッスンをしてくれ、海外でのマーケティングの基本を学ぶことができたため、将来海外で働きたいと考えている人には素晴らしい経験になると思います。また40日間も一緒に行動をとるメンバーがいるため、とても仲良くなることができます。観光などもたくさんできて、一生の思い出になるでしょう。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

留学費用項目 (申込時の料金は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	1600/約1万 円	昼ごはん・夜ご飯・おやつ
図書費	0 円	
学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	800 円	事前購入
現地通学費	480/約 2880 円	(研修先まで 車で 5 分)
教養娯楽費	1460/8700 円	遊園地
被服費	220/1320 円	現地の薬、服
雑費	1000/6000 円	お土産
その他	1195/約 7200 円	例:スタバ
その他	2260/約 1 万3 千 円	例:spa
合計	50000 円	クレジットカードに二万ほどの請求

渡航準備について

1)ビザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか

大学がビザの申請を手配してくれたので、特に困りませんでした。

2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか

現金の用意方法: 空港・現地のショッピングモールで両替

その他用意したもの: クレジットカード デビットカード・キャッシュパスポート

3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか

SIM カードは、日本滞在中にアマゾンで購入して行きました。他の多くの参加者は空港で買っていました。

4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか

日本の薬(解熱剤・整腸剤・のど飴)、体温計、ハンガー、長財布(基本紙幣なので)、マスク(乾燥)
基本的に日本の日用品は、ベトナムのショッピングモールにもおいてあるので現地調達でもいいかもしれません。

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例:研修の相談窓口、現地の友人等)

なし あり (問題の内容や相談した人等: 3 人)

特記事項: 現地で高熱を出しました。ルームメイトやバディがご飯など調達してくれました。

2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

観光雑誌などで事前情報は得ました。なんとなく地理感覚を掴むために、初めは友達と行動するようにしていました。

3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

SIM の携帯番号があるにはあったけど電話の使用はできませんでした。GRAB や Whatsup など電話番号を必要とするアプリケーションは日本でインストールしておくともいいかもしれません。

滞在形態関連

1)留学中の滞在先の種類
<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input checked="" type="checkbox"/> ホテル
2)部屋の形態
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 2人)
3)共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
ホテルはビュッフェも美味しく、部屋も快適でした。英語はあまり通じません。また、洗濯もホテルに出すと高いので近所のランドリー屋さんに頼むことをおすすめします。

プログラムについて

プログラム参加前について記載してください

1)どのような目的でこのプログラムに申し込みましたか。
中長期留学を考えており、その前段階として短期留学に一度行ってみたいかった。 国際的な職場を経験してみたかった。英語を多く使用する環境に身を置きたかった。
2)参加するにあたっての目標はありますか。
マーケティングとしてインターンシップに参加するが、マーケティングの実用的な知識や、marketing materials の作り方を知りたい。 また、マーケティングだけではなく、一般的な会社のマナーを身につけたい。 英語を用いた積極的なコミュニケーションをとれるようにしたい。
3)申込時では、どのような業界で働きたいと考えましたか。
Teaching Assist として現地の学生と交流したいと考えていた。しかしながら応募段階で、英語を使用する機会が減多にないことがわかり、マーケティング志望に変更した。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)どのような業界で実習を行いましたか。
IT、Software
2) 主要な実習内容を記載してください。
マーケティングとしてインターンシップを行なった。SNS の運用、企業 web サイトや製品概要書類の翻訳、競合企業との分析・比較など。
3)業界、仕事内容について、イメージとの違いはありましたか。日本との違いなどを感じた場合は、どう異なっていると感じたか記載してください。
インターン先の企業は IT の中でもプログラミングに特化しており、プログラマーの方が職場のほとんどを占めていたことに少し驚いた。業務内容に関しては、基本的に SNS を通じた宣伝活動を行うことができたが、本格的なマーケティング業務を成し得たかは疑問が残る。
4) プログラムや実習内容について、良かった点、悪い点(大変だった点)を記載してください。
一週間目に大学に通いながらビジネススキルについて講義を受けたのだが、実際に海外の大学を体験しているようで非常に面白かった。 企業での実習内容については、良かった点として実際に SNS を用いた広告活動が出来たこと、自分達の功績が形で残せたこと(企業の製品紹介についての書類を翻訳したものを実際に使用してくれたらしい)、職場の方にこれからのキャリア形成に必要な極意を教えていただいたことが挙げられる。 一方で、本格的なマーケティング業務を成し得たかは疑問が残る(マーケティングにおける分析方法などの詳細をレクチャーされ

ていないので)。

5) プログラム参加の成果等を記載してください。

英語で話しかける時にためらいが少なくなった。

以前までの学生生活を見直すきっかけになったとともに、今後のモチベーションにつながった。

IT 業界の構造や販売方法、役割の違いについての知識が身に付いた。SNS の運用方法やスケジュール、戦略の立て方について学べた。

英語力／コミュニケーションについて

1) 申込時の英語スコアを記載してください。

TOEIC: 775

2) 渡航前に語学力向上に向け、どのような取り組みを行いましたか。

英会話に慣れたくてオンライン英会話に申し込んだが、継続できなかった。その他にもラジオ英会話や、英単語学習も行った。

3) 実習/ホームステイでのコミュニケーションや英語力の向上について、工夫したこと、成果などを自由に記載してください。

大学では自分の意見を論理的に述べることを考えて発言した。現地の方と話す際は、お互いの独自のなまりに苦戦したが、表情や、スピードを意識して会話をした。

留学体験記

研修や生活全般、今後の展望等について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200

短期留学に応募しようとしていた当初は、一般的な、通学するだけの留学を探していた。しかしながら、インターンシップを含む留学に参加してみて、結果的に良かったと考える。一週間目は大学に通い授業を受けることもできるし、海外の企業を実体験することもできる貴重な機会だったからだ。自分以外の明治大生も一人で参加している人がほとんどで、休日も他学部の人たちとかけがいのない思い出を作ることができた。また、一ヶ月も他国で過ごせる夏休みは非常に特別感がある。自分の英語に対するモチベーションを向上させたい人にもこのプログラムをお勧めする。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

留学費用項目 (申込時の料金は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	45000 円	
図書費	1000 円	ベトナム語会話集を購入しました
学用品費	600 円	文房具など
携帯・インターネット費	1400 円	SIM カード代
現地通学費	12000 円	(研修先まで 分)
教養娯楽費	40000 円	ツアー代金も含む
被服費	5000 円	
雑費	6000 円	お土産代
その他	円	例:
その他	円	例:
合計	111000 円	

渡航準備について

1)ピザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
特にありません。
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: その他用意したもの: <input type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
空港で購入しました。SIM カードの期間が 30 日しかなかったため、足りない日数分買い足しました。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
1, 日本のお菓子や日本ならではのもの 現地の人に喜ばれます。僕はゲームを持っていきましたが、高評価でした。 2, 加湿器 ホテルはクーラーが効いているため乾燥しています。それが原因で風邪をひいたので、持っていけばよかったです。

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例:研修の相談窓口、現地の友人等)
<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり(問題の内容や相談した人等: FPT 大学のコーディネーター) 特記事項: 職場が自分に適していなかったため、転職を考える際相談した。
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
貴重品は肌身離さず持つておくよう心掛けました。ダナンは比較的治安が良いことから、僕も、僕の周りの人も盗難に遭うことはありませんでした。
3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
基本的に4G がつながっていたため、快適に過ごすことができた。しかし、ホテルの回線はたまに調子が悪くなることもあるため、近くのカフェのフリーWi-Fi を利用したこともあった。

滞在形態関連

1)留学中の滞在先の種類

<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input checked="" type="checkbox"/> ホテル
2)部屋の形態
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 2人)
3)共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊不可)
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
滞在先はかなり快適でした。毎日クリーニングが入るため、ハウスダストを持っている僕でも安心して過ごすことができました。また、水回りやトイレもかなり清潔でした。しかし、ベトナムは日本以上に暑いため、クーラーをつけていないと生活できません。クーラーをつけっぱなしにしていると喉が乾燥するため、風邪をひきやすくなります。僕はそれに気づかず風邪をひき、何日か欠勤しました。なるべく加湿器を持参する、濡れたタオルをあらゆるところに置くなどをして対策するべきであったと思います。夏であっても、加湿対策することをお勧めします。

プログラムについて

プログラム参加前について記載してください

1)どのような目的でこのプログラムに申し込みましたか。
理由は 2 つあります。1つ目に、私は、将来日本企業の海外進出支援をしたいと考えています。その目標をかなえるためには、海外の人と英語でコミュニケーションをとり、仕事をしていく必要があると考えたため、ベトナムでのインターンを通じて、その練習をしたいと考えていました。2つ目は、日本企業は現在東南アジアに多く進出しているため、現地に行くことでその背景を考察したいと考えていました。
2)参加するにあたっての目標はありますか。
<ul style="list-style-type: none"> ・現地の人と積極的にコミュニケーションをとり、主体的に動くこと。 ・ベトナム経済の将来性を自分なりに考察すること ・英語力を磨くこと
3)申込時では、どのような業界で働きたいと考えましたか。
私はインターンの業界でマーケティング業界を志望していました。理由は、ベトナムは日系企業にとって新規市場になるかどうか知りたかったからです。マーケティングのメインの仕事は市場分析であり、市場分析を通じて、ベトナムの産業、ベトナムの経済発展の可能性を知ることができると考えていました。そのため、私はマーケティング業界を志望していました。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)どのような業界で実習を行いましたか。
英語学習塾のマーケティング部門
2) 主要な実習内容を記載してください。
<ol style="list-style-type: none"> 1, TOEIC、IELTS に関するコラムの作成 2, ウェブサイトの閲覧数や広告視聴数などの分析 3, 会社が管理する YouTube チャンネルに出演、また動画脚本の作成
3)業界、仕事内容について、イメージとの違いはありましたか。日本との違いなどを感じた場合は、どう異なっていると感じたか記載してください。
仕事内容については、当初、マーケティングの仕事は市場調査がメインであると思っていましたが、広告作成や SNS 管理などもマーケティングの重要な仕事であることを知りました。また、海外の人は個人主義で、個人ベースの仕事がメインであると思っていましたが、僕の職場は社員全員の仲が良く、チームワークを重視する企業であったため、日系企業の職場とあまり変わらないと感じました。
4) プログラムや実習内容について、良かった点、悪い点(大変だった点)を記載してください。
よかった点は2つあります。1 つ目は、コーディネーターがとても親身になってくれたことです。僕が職場を変えようと考えていた時、僕のためにミーティングを開いてくれました。2つ目は、ツアーが充実していたことです。はじめは同じ明治大生と仲良くできるか不安でしたが、毎週ツアーがあったため、気軽に話せる仲間になりました。大変だった点は、言語の壁が思った以上に大きかったという点です。もうすこし日本で勉強していれば、より早い期間でスムーズにコミュニケーションをとれたのではないかと後悔しています。
5) プログラム参加の成果等を記載してください。

私の仕事は TOEIC、IELTS に関するコラムの作成、会社のユーチューブ動画の出演、またその動画の原稿作成でした。その中で一番の成果は、自分の考えた脚本が会社の人に受け入れられ、実際にその動画が投稿されたことだと感じています。私の会社のチャンネルはベトナム人が主な視聴者であるため、あまり再生数は多くありませんでしたが、自分のアイデアや能力で会社に貢献する事ができたため、一番の成果だと感じています。

英語力/コミュニケーションについて

1) 申込時の英語スコアを記載してください。

TOEIC L&R 875 点

2) 渡航前に語学力向上に向け、どのような取り組みを行いましたか。

海外で生活する以上、英語力は総合的に鍛えておく必要があると考えたため、4 分野バランスよく学習しました。

Reading: 英字新聞(Japan times など)を毎日読む

Listening: CNA というシンガポールのニュースを聞いた。(アジアの英語発音に慣れるため)

Writing: 日記を英語で書く

Speaking: オンライン英会話を毎日行う

3) 実習/ホームステイでのコミュニケーションや英語力の向上について、工夫したこと、成果などを自由に記載してください。

英語力を向上させるために、とにかく職場で社員の人と交流したり、現地のパディと交流をしたりしました。はじめはうまく聞き取れず、何度も聞き返しましたが、諦めず毎日続けていくことで、最後のほうはスムーズにコミュニケーションをとることができました。

聞き取れなかったとしても、こちらからコミュニケーションをする姿勢を見せれば、現地の人には気にせず話しかけてくれます。どんなに聞き取れなくても、その姿勢を貫くことを意識していました。

留学体験記

研修や生活全般、今後の展望等について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

私は経済学を専攻しており、日本経済は低成長を迎えていることを学んだため、日系企業の海外進出支援をしたいと考えています。今回のインターンはそれとあまり関係のない仕事でした。しかし、海外という慣れない環境で、自分ができていることを考え、実践するという、将来海外をフィールドに仕事をしたいと考える僕にとっては、とても良い経験ができたと感じています。

留学や海外と聞くと、どこかキラキラしていて、洗練されたイメージがあります。しかし、実際はそうではありません。海外では日本以上に困難が多く、何度もつらい思いを経験しました。私はそのような経験をして、海外をフィールドに仕事をしたいと思えたため、今回のインターンはその意思を確かめる貴重な機会だったと感じています。そのため、もし海外を視野に入れてキャリア形成を考えている場合、海外インターンをするを強くお勧めします。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

留学費用項目 (申込時の料金は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	40000 円	
図書費	0 円	
学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	1500 円	
現地通学費	4000 円	(研修先まで10分弱)
教養娯楽費	3000 円	
被服費	1000 円	
雑費	5000 円	
その他	5000 円	例: 洗濯
その他	30000 円	例: お土産
合計	89500 円	

渡航準備について

1)ピザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
特記することは無いです
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: ジュエリー屋・空港で高レートでの現金同士の交換 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
現地の大学生兼サポーターが全てサポートしてくれた
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
風邪薬、現地のホテルの冷房により乾燥になって喉風邪を引いたから。日焼け止めやサングラスは日差しが強かったので助かった。殺虫剤もあるといいかもしれない(ゴキブリ対策)。

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
現地の人がホーチミン等に比べダナンは治安が良いと口々に言っていたため安心して暮らした。
3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
良好でした。

滞在形態関連

1)留学中の滞在先の種類

<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input checked="" type="checkbox"/> ホテル
2)部屋の形態
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 2人)
3)共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊不可)
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
主体性を持った行動をしましょう

プログラムについて

プログラム参加前について記載してください

1)どのような目的でこのプログラムに申し込みましたか。

感情の勢いです。

2)参加するにあたっての目標はありますか。

働く経験を英語の環境で得る

3)申込時では、どのような業界で働きたいと考えましたか。

マーケティング

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)どのような業界で実習を行いましたか。

マーケティング PODに関する

2) 主要な実習内容を記載してください。

市場分析 SNS投稿を考える 自社分析

3)業界、仕事内容について、イメージとの違いはありましたか。日本との違いなどを感じた場合は、どう異なっていると感じたか記載してください。

曖昧なイメージが具体化された。日本よりも約束・時間にルーズ。

4) プログラムや実習内容について、良かった点、悪い点(大変だった点)を記載してください。

5) プログラム参加の成果等を記載してください。

ベトナム人の友達ができました。マーケティング・ビジネス英語の難易度が理解できた。

英語力／コミュニケーションについて

1) 申込時の英語スコアを記載してください。

TOIEC770

2) 渡航前に語学力向上に向け、どのような取り組みを行いましたか。

アメリカのスポーツ実況を英語で聞くくらいしかなかった。

3) 実習/ホームステイでのコミュニケーションや英語力の向上について、工夫したこと、成果などを自由に記載してください。

自分から積極的に話しかける・行動する。ボディランゲージで英語力をカバーして会話を持たせる。

留学体験記

研修や生活全般、今後の展望等について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

まずは全体としては行って良かったと思える良い経験を得ることが出来ました。同じ大学の人と行動する人が多かった中で、自分の職場先には法政大学からの二名とベトナム人の二名がインターン生としていたため、学校から外れた人脈や交流が出来たことは非常に大きかったです。生活のうちで特に食事面ではパクチーか辛いかのほぼ二択で、合わない人は多いかもしれない。だが、探せばイタリア料理から日本料理からなにから存在するのでそこまでは困らない。展望については新たな留学をしたいと考えている。マーケティング業界に就職を決めるほどのことはないもののそれへの興味は大分上がった。路上のごみ箱やホテルには一部、トカゲやゴキブリ、鼠がいるので驚きますが冷静に対処してください、大丈夫です。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

留学費用項目 (申込時の料金は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	50,000 円	
図書費	0 円	
学用品費	1,800 円	
携帯・インターネット費	10,000 円	
現地通学費	20,000 円	(研修先まで 10 分)
教養娯楽費	10,000 円	
被服費	30,000 円	
雑費	20,000 円	
その他	円	例:
その他	円	例:
合計	141,800 円	

渡航準備について

1)ビザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
特にない。ただ、パスポートは早めに取得した方が良い。自分は4月中に取得しました。
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 現地で換金 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
日本国内で e-SIM を事前購入
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
常備薬。自分は風邪を引かなかつたが、周りが風邪をひいていた。

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
特に情報収集していないが、貴重品は常に持ち歩いた / 犯罪には巻き込まれていない
3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
安全なフリーWi-Fiが充実しているし、全く問題ない

滞在形態関連

1)留学中の滞在先の種類

<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input checked="" type="checkbox"/> ホテル
2)部屋の形態
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 2 人)
3)共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
冷房の温度調節次第で風邪をひきやすいので、下げすぎないこと。喉の不調を訴える人が多かった気がするので、マスクと喉薬。現金が現地で不足する人が多かったが、クレジットカードで引き出せるのであまり心配しなくても大丈夫。私は 5 万円持って行ったが、丁度良いと思う。

プログラムについて

プログラム参加前について記載してください

1)どのような目的でこのプログラムに申し込みましたか。
暇だったので。
2)参加するにあたっての目標はありますか。
特にない。
3)申込時では、どのような業界で働きたいと考えましたか。
IT 分野。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)どのような業界で実習を行いましたか。
IT 分野(Web 開発)
2) 主要な実習内容を記載してください。
<p>現地の IT ベンチャー企業で Web 開発に従事した。Web 開発には大きく二つの部門:FrontEnd と BackEnd がある。私の場合、最初の 1 週間を FrontEnd に、残りの 3 週間を BackEnd に費やした。私に与えられた課題は「1 週間で言語を 3 つ学びながら Web サイトを作成し、残り 3 週間でさらに 2 つの言語を学び、データベースを構築、仮想のショッピングサイトを作る」ことだった。</p> <p>※FrontEnd : Web サイトの見た目を開発する部門, Web designer ※BackEnd : Web サイトをインターネット上のサーバーやデータベースに接続することで様々なシステムを構築する部門, Web Engenner と言ったところ</p>
3)業界、仕事内容について、イメージとの違いはありましたか。日本との違いなどを感じた場合は、どう異なっていると感じたか記載してください。
私は Web 開発の素人だったので仕事内容に関しては特に無いが、職場はずっと誰か話している感じでアットホームな雰囲気が居心地良かった。
4) プログラムや実習内容について、良かった点、悪い点を記載してください。

実習が面白すぎて、プログラム参加者の他の明大生たちとコミュニケーションをとることを忘れていた。この場を借りて謝ります笑。

5) プログラム参加の成果等を記載してください。

①情報検索能力と実装力

-理由

: 私は Web 開発に関しては全くの素人である。強いて言えば、プログラミング言語が一つ (C++) できるのと数学好きであることぐらいである。とにかく時間がなかった。私に与えられた課題は「1 週間で言語を 3 つ学びながら Web サイトを作成し、残り 3 週間でさらに 2 つの言語を学び、データベースを構築、仮想のショッピングサイトを作る」ことだった。まずは基礎から、などと言っている暇はなく、一つインプットしたらすぐに実装。ひたすらこれを繰り返す。分からないことがあったら同僚やメンターに聞く、ネットで調べる。かなりハードな仕事だったが、とても楽しかった。この課題をクリアするには、とにかくアウトプットを中心に据えること、分からない概念があればそれをそのまま検索しても理解できるはずもないので、一つ一つ何が前提知識なのかを分析し、それらを全探索して潰すことが大切だった。こんなことをほとんど毎日 12 時間以上 (帰宅後もやる笑) やっていたものだから、自然と情報検索能力と実装力が身についたような気がしている。しかし、課題を解決するのに最も大切なことは、‘一つ一つ何が前提知識なのかを分析し、それらを全探索して潰すことが大切だった。’ この部分だったように思う。なぜなら、徹底的に一つ一つ分からない知識を潰したおかげで、線形に成長できたからである。また、‘とにかくアウトプットを中心に据えること’ この部分は、何かを調べる自発的動機づけを自然と与えてくれたので、実はかなり重要だった気がする。もちろんそれはメンターと同僚がいてこそそのものだったので、彼らには非常に感謝している。これらの思考スタイルはインターンというよりは、むしろ大学で学んでいる数学によって身についたものなので、文理関わらず生田の数学科で他学部履修することを薦める。おすすめは「幾何学 1」, 「幾何学 2」 (3 年次対象: 野原先生)。

②FrontEnd の知識

-理由

: 最初の 1 週間は課題であるショッピングサイトの Web ページを作成した。これには HTML, CSS, JavaScript と言われる言語が必要で、今考えると恐ろしいが実際にこれらの言語を 1 週間で習得した。アウトプット中心だったので、忘れることなくかつ実践的な形で今もこれらの言語が使える。主に海外の Web サイト (おすすめは W3school) と Youtube, ChatGPT を教材として用いつつ、オープンソースの TextEditor ('Visual Studio Code 2') でコーディングをした。しかし、BackEnd は FrontEnd に比べると (自分にとっては) お話にならないレベルで難しいことをこの後知ることになる。

③BackEnd の知識

-理由

: 残り 3 週間は作成済みのショッピングサイトをデータベースに接続して幾つかのシステムを追加した。具体的には、ショッピングサイトの在庫管理システム、ログイン、サインアップシステムなどである。これには PHP, SQL と言われる言語が必要で、システムを構築するのに必要なソースコードが各サイトごとに異なり、何が本質なのかを見極めるのにかなり苦労した。はっきり言って難しかった。サーバーを立ち上げる、データベースを構築する、何の注意もなく使われる PHP に埋め込まれたデフォルトの道具 (class, property, method) が多すぎて嫌になる、Web の構造に関する抽象的なモデル (例えば MVC model) を PHP で具体化する、自分の作成したコードが美しくないと言われ書き直す、、、、etc。正直途中で挫折しかけたが、なんとかやり切って課題は最終日の 2 日前に終わった。課題が終わったタイミングで、メンターに「今まで 1 ヶ月のコードを全て消してもう一度作れるか? 作れば、君は真に理解したことを証明できる。」と真顔で言われ、実際に消去したが 6 時間で全て作成することができたので少なくとも課題に関しては今でも完璧に理解している。

④ Short cut key の知識

-理由

: 同僚が使っているのを盗み見していたら、やたら詳しくなった。

英語力／コミュニケーションについて

1) 申込時の英語スコアを記載してください。

TOEIC 820

2) 渡航前に語学力向上に向け、どのような取り組みを行いましたか。

特になし。

3) 実習/ホームステイでのコミュニケーションや英語力の向上について、工夫したこと、成果などを自由に記載してください。

実習で参照した文献は全て英語。日本語でデータサイエンスの話をされても専門用語の日本語訳を知らないで逆に理解できない。成果としては、英語なら学習リソースが圧倒的に多くかつ質が良いので今後も自学自習がしやすいこと。

留学体験記

研修や生活全般、今後の展望等について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

今後の展望

: 最初の1週間で同じだった英会話のクラスメイトとは仲が良く、しばらくしたら食事会でも開こうかなと考えている。インターン先のメンターや同僚とはマブダチであるから、よく連絡をとっている。仕事については時間がなかったのでセキュリティについて学べなかったが、こちらは秋学期に中野で講義を履修登録しているので、本研修で培った学習スタイルと海外のサイトを駆使して実践的なレベルで理解したいと思う。

アドバイス

: 特になし。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

留学費用項目 (申込時の料金は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	30000 円	
図書費	2000 円	観光ガイド
学用品費	1000 円	
携帯・インターネット費	2000 円	SIM 代
現地通学費	3000 円	(研修先まで 10 分)
教養娯楽費	50000 円	ナショナルホリデーの旅行代を含む
被服費	1000 円	
雑費	5000 円	Grab 代
その他	円	例:
その他	円	例:
合計	94000 円	

渡航準備について

1)ピザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
特になし。
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 両替(空港、ショッピングモール、ジュエリーショップ) その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WIFI)はどのように準備しましたか
空港で SIM カードを購入した。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
ホテルに栓抜きがなく、持っていけばよかったと思った。スマホの防水ケースは、海に行ったときに必要になったのであったほうがよいと思った。

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例:研修の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
基本的に治安が良く、特に危険な目には合わなかった。 暗い夜道を一人で歩くことはなるべく避けた。
3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
山の方に行くとき3G になるか電波が切れてしまうが、それ以外は基本的には問題なく使えた。ホテルの部屋によっては WIFI が使えないところもあったが、自分のところは問題なかった。

滞在形態関連

1)留学中の滞在先の種類

<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input checked="" type="checkbox"/> ホテル
2) 部屋の形態
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 2 人)
3) 共有部分
<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊不可)
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
ホテルでの滞在は居心地がよかった。毎日清掃が入りごみを片付けてくれて部屋をきれいにしてくれるので良かった。ホテルのシャンプーは泡立たなかったので自分のものを用意した方がよい。水は飲めないため、近くで 5L の水を買って、ペットボトルにつぎ足しながら飲んでた。朝食もメニューがたくさんあり、飽きることはなかった。

プログラムについて

プログラム参加前について記載してください

1) どのような目的でこのプログラムに申し込みましたか。

語学研修とインターンシップが両方体験することができ、ベトナムの文化に興味があったから。他のインターンや留学に比べ、金額が安く金銭面でのハードルが低かったから。

2) 参加するにあたっての目標はありますか。

なるべく英語を話して英語でコミュニケーションをとれるようになりたい。ベトナムの文化に触れ、日本との違いを感じながら日本について考えたい。インターンでマーケティングの基礎を学びたい。

3) 申込時では、どのような業界で働きたいと考えましたか。

マーケティングや PR で働きたい。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1) どのような業界で実習を行いましたか。

ベトナムのマーケティング会社でウェブマーケティングについて学んだ。

2) 主要な実習内容を記載してください。

CEO からいくつかのタスクが渡され、それに沿って、調査をしていく。調査にはグーグルアナリティクスなどの解析ツールを使用してウェブサイトの利用状況やフェイスブックの投稿について調べた。また、午後には CEO がマーケティングの授業をしてくれて、マーケティングに必要なものを学ぶことができた。

3) 業界、仕事内容について、イメージとの違いはありましたか。日本との違いなどを感じた場合は、どう異なっていると感じたか記載してください。

オフィスに入る前に靴を脱いで入るのは日本と違うと思った。また、自分のインターン先は服装が自由で T シャツや短パンで出勤してもよかった。CEO は裸足で働いていた。働き方も自分の仕事が終わったら、帰宅でき、出勤時間は決まっていなかった。

4) プログラムや実習内容について、良かった点、悪い点(大変だった点)を記載してください。

一人では使えないような解析ツールを使った分析ができたことがよかった。マーケティングの基礎の知識が身についたので良かった。ベトナムの英語の発音に癖があり、最初は聞き取れなかったが、次第に慣れていった。CEO は忙しいため、自分たちのタスクが終わってもすぐにはフィードバックがもらえるわけではないので、待っている時間は少し暇だった。ベトナムの人と会話できたことは楽しかった。

5) プログラム参加の成果等を記載してください。

グーグルアナリティクスによる分析
Similar web を使った分析
フェイスブックの投稿の分析
マーケティングの順番

英語力／コミュニケーションについて

1) 申込時の英語スコアを記載してください。
TOEIC 685 点 英検準1級
2) 渡航前に語学力向上に向け、どのような取り組みを行いましたか。
TOEIC の参考書を使って勉強した。 洋画や洋楽を聞いてリスニングの強化をした。
3) 実習/ホームステイでのコミュニケーションや英語力の向上について、工夫したこと、成果などを自由に記載してください。
なるべく外国人に話しかけ、詰まりながらも自分の考えを伝えようとした。外国人と話すためにビーチバレーのコミュニティに混ざり一緒にプレーし、コート横で話すことで交流を深めた。そこで仲良くなった人にご飯に誘ってくれることもあり、そこで日本の話や外国の文化の話をして英会話のスキルを磨いた。英語で話すことは流ちょうとまではいかないものの、考えながら相手に伝えることができるようになった。リスニングは単語がすべて聞こえるわけではないが、言っていることが分かるようになった。

留学体験記

研修や生活全般、今後の展望等について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

研修前は内向的な性格で外国の人とうまく話せるかわからなかったけど、研修中はコーディネーターの人やバディなど現地の人がついてくれるので安心して生活できた。ダナンにはベトナム人だけでなく、アメリカやドイツなどいろいろな国の人が住んでいるため、文化の違いを感じることができた。いろいろな人と交流するにつれて、日本の文化について教えることが面白くなった。これからは日本についてもっと知り、それを伝えられるように英語を勉強していきたい。研修が終わるころには外交的な性格になり、多くの人と仲良くなっていた。自分の成長を実感できた研修だった。
--

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

留学費用項目 (申込時の料金は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	30000 円	
図書費	0 円	
学用品費	0 円	日本からパソコン・ノートを持参した
携帯・インターネット費	1500 円	空港で1か月分のSIMを購入+延長料金 300 円
現地通学費	20000 円	(研修先まで車やバイクで 15 分)
教養娯楽費	0 円	
被服費	3000 円	
雑費	0 円	
その他	9000 円	例: 観光地ツアー代、アオザイのレンタル、マリンスポーツの体験
その他	円	例:
合計	6万3500 円	

渡航準備について

1)ビザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
特になかったが、パスポートの申請をする際の待機時間が長かった。パスポート未所持の学生は、時間に余裕をもって取得の手続きをするよう勧めたい。
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 日本円を現地の空港や両替所で両替(日本で両替するとレートが悪いので、現地で両替することを勧める) その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
SIM カードは空港で購入した。(1 ヶ月で期限が切れてしまったため、途中で追加の容量を課金した。)
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
・日本から準備して助かったもの: お水・お湯で溶けるお茶やほうじ茶、ハンガー ・準備したほうが良かったもの: 加湿器(ホテルの乾燥がひどく、加湿器が必要だった。現地で購入した。) ・

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等: 研修の相談窓口) 特記事項: ホテルの備品の破損、SIM カードのエラーなど
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
外務省の HP で事前に対処法を調べた。現地では貴重品は常に身に付けた。また、スマートフォンには首から下げる紐をつけ、盗難対策を行った。
3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
特に問題はなかった。ベトナムはカフェやスーパーにフリーWi-Fi が飛んでいる場所が多いため、インターネットの接続に困ることはなかった。

滞在形態関連

1)留学中の滞在先の種類

<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input checked="" type="checkbox"/> ホテル
2)部屋の形態
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 2人)
3)共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
<p>ホテルの部屋に到着したら、荷物を置く前に部屋を確認し、写真を撮影すべき。私の部屋は、洗面所のドアの鍵・シャワールームのドアに破損があった。また、ケトルは使えなかったり水漏れがあったりしたため、数回フロントに交換を依頼した。</p> <p>また、最初は冷房の設定が16℃になっており、冷房をつけたまま就寝していたため、体調を崩す学生が続出した。必ず冷房の設定は25℃程度、就寝の際は2時間で切れる設定をすることを勧める。</p>

プログラムについて

プログラム参加前について記載してください

1)どのような目的でこのプログラムに申し込みましたか。

目的は2つある。第一に、日本とベトナムの商習慣の違いを理解したいからだ。私は来年の春から商社で働く予定であり、将来海外の人とビジネスをするにあたって、商習慣の違いの理解が必要である。そこで、新卒として働く前段階として1ヵ月ベトナムで働き、海外と日本の商習慣の違いを理解したい。

第二に、異文化コミュニケーションのスキルを身に付けたいからだ。これまで英語を10年以上学習してきたが、いわゆる“受験英語”に留まり、海外の人と直接コミュニケーションを取る機会が少なかった。コロナ禍もあり、海外に足を運ぶ機会もなかったため、今回のプログラムが初の海外渡航である。そこで1ヵ月ベトナムの文化に触れ、異文化コミュニケーションのスキルを身に付けたいと考え、プログラムに応募した。

2)参加するにあたっての目標はありますか。

派遣先の企業において、与えられた仕事をこなすだけでなく、積極的に仕事をもらいに行くこと。また、問題に直面した際に、自分で調べるとともに、周囲に頼って解決を図ること。

3)申込時では、どのような業界で働きたいと考えましたか。

B to B の業界で営業のアシスタント職を希望していた。(業界というよりは、職種で希望していた。)

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)どのような業界で実習を行いましたか。

リゾートホテル業界
5つ星ホテルの The Ocean Villas のマーケティングチームにジョインした。

2) 主要な実習内容を記載してください。

マーケティングの中でも、デジタルコンテンツ(画像や動画)の編集業務に携わった。ホテルがターゲットである顧客にリーチする際のメインツールがFacebookであるため、Facebookに投稿する画像をPhotoshopで作成することが主な業務内容である。1週目はPhotoshopの基本ツール(レイヤー、切り取り、影、画像加工)について学び、2週目は動画を作成する際の構成や素材の撮影方法について学んだ。3週目はロゴのデザイン、そして最終週は公式のFacebookに投稿する画像を作成した。画像・動画はFacebookのファンページにまとめている。[\(17\) Facebook](#)

3)業界、仕事内容について、イメージとの違いはありましたか。日本との違いなどを感じた場合は、どう異なっていると感じたか記載してください。

業界についてイメージとの違いはなかったが、仕事内容についての違いはあった。事前の案内でマーケティング職をアサインされ、職務内容にデータ分析や競合との比較があったため、渡航前はマーケティングの戦略を考える仕事内容を想像していた。しかし、実際は直属の上司はデザイナーであり、デジタルコンテンツの作成が業務の中心であったため、業務内容にギャップはあった。

また、働き方の面において、日本との違いがあった。例えば、退勤時である。インターンシップ中の勤務時間は朝の8時から17時半までだったが、勤務初日、仕事を終えて上司に帰宅の許可を取りに行くと、「許可はいらない。自由に帰宅して良い」と言われた。日本では上司が帰宅するまで部下は帰らない、といった文化があるが、ベトナムでは仕事が終われば、各人が自由に帰宅していた。

<p>4) プログラムや実習内容について、良かった点、悪い点(大変だった点)を記載してください。</p> <p>・良かった点 デジタルコンテンツの作成など、クリエイティブなスキルを獲得できた点である。渡航前、Canva や PowerPoint でポスターを作成した経験はあったが、Photoshop を使用した画像編集の経験はなく、ゼロからのスタートだった。そのため、インターン以外の時間は日本語のサイトで学習するなど、自学自習を徹底したことは良かったと思う。</p> <p>・悪い点(大変だった点) ベトナムは英語が第一言語ではないため、お昼休みの時間などに上司や同僚がベトナム語で会話していると、少し疎外感を感じてしまった。英語も独特のアクセントがあり聞き取りにくいので、仕事内容は文章で確認したり、聞き取れなかったことは繰り返し聞き直したりなどの工夫が必要である。</p>
<p>5) プログラム参加の成果等を記載してください。</p> <p>成果は異文化に適応する力である。 渡航前は初の海外ということもあり、不安な気持ちが先行していた。1週目は生活に慣れることに必死だったが、2週目以降は積極的に行動することを目標に、ベトナム人のパディを誘ってローカルなご飯を食べに行ったり、Grab でバイクに乗ってみたい、異文化に触れる経験を増やした。 経験をすることで、異文化に適応するために必要な力は2つあると感じた。1 つ目が「挑戦する力」だ。例えば、ローカルフードであるホピロンに挑戦した。ホピロンは屋台で販売されている孵化しかけのアヒルの卵で、ベトナムのソウルフードだ。グロテスクな見た目をしているが、塩気のあるゆで卵の味で栄養価も高い。インターンシップ先の同僚に写真を見せたら、「すごいね！ベトナムではアンラッキーな日には2つ食べるよ」と教えてもらい、会話が広がる契機になった。 2つ目が「オープンコミュニケーション」である。喜怒哀楽の感情だけでなく、思考や課題を自ら伝えることが異文化適応の第一歩だと感じた。一度、インターンシップ先の上司と同僚と外出した際、道案内を間違えてしまったことがある。途中で間違いに気づいたが、失敗を責められることが怖くて言い出せなかった。のちに間違っていたことを伝えたが、気づいたときにすぐに相談をするべきだった。また失敗を責められることもなく、勝手な思い込みで判断をしていたことに気づいた。一般的に異文化に適応する際、「当たり前を当たり前と思わない」ことが大事、とされているが、「間違えた→失敗・責められる」といった思い込み・認知があることを実感した。</p>

英語力／コミュニケーションについて	
<p>1) 申込時の英語スコアを記載してください。</p> <p>TOEIC755 点</p>	
<p>2) 渡航前に語学力向上に向け、どのような取り組みを行いましたか。</p> <p>語彙力をつけるために、アプリを使用して勉強していた(Duolingo など)。</p>	
<p>3) 実習/ホームステイでのコミュニケーションや英語力の向上について、工夫したこと、成果などを自由に記載してください。</p> <p>渡航前は TOEIC750 点程度であり、英語で話す機会も少なかった。今回のプログラムでは、コーディネーターやパディとの会話、勤務先の同僚との会話は全て英語だったため、必然的にアウトプットの量が増加した。渡航前と比べて、英語を話すことに抵抗は無くなったが、同時に課題もある。1つ目は語彙力だ。知っている単語を繰り返し使用して話しているため、語彙力が向上しないとビジネス英語の授業でFBを受けた。2つ目は英訳の力である。和訳だけでなく、英訳の力がないと、伝えたいこと・話したいことを英語に変換できないと気づいた。そのため、今までの語彙の勉強を見直すとともに、英語で日記をつけるなど日常生活に英語を落とし込む必要があると感じた。</p>	

留学体験記

研修や生活全般、今後の展望等について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

研修で得られた気づきは2点ある。1つ目は円滑な仕事の進め方だ。研修の仕事内容はデジタルコンテンツの作成であり、仕事は5つのステップで進めた。①デザイナーから作成するコンテンツの指示をもらう→②Photoshop や動画編集アプリでコンテンツを作成する→③デザイナーに見せてFBを受け取る→④修正→⑤再度確認、という流れである。最初のうちは②の段階で画像編集を完成させてからFBを受け取りに行っていたが、画像のサイズが違ったり、デザインの目的がずれていたりなどのミスが頻発した。そのため、ミスを防ぐために2つの施策を行った。第一に、①の指示を受け取る前にチェックリストを作成したことである。デザイナーとの齟齬を防ぐために、デジタルコンテンツを作成する上で必須となる確認事項(サイズや解像度)などを明確化した。第二に、完成度6割の段階でデザイナーに壁打ちすることである。背景には、架空の企業のロゴを作成する課題の際、完成させてから壁打ちしたら作り直しになった経験がある。ボツ案になったロゴは、日本とベトナムの国旗の要素と桜と蓮の花のカラーコードを設定したデザインだったが、デザイナーからは2点FBを受け取った。1点目が普遍的なロゴの作成には、国旗を想起させるデザインの使用は避けた方がいいこと。2点目はロゴの視認性を高めるために、色は明るいカラーを指定することである。FBを受け、ロゴを作り直した。旅を想起させる飛行機のデザインと、視認性を高めたカラーに変更し、モックアップを作成した。このロゴのデザインの仕事をすることで、「もっと早くデザイナーに見せるべきだった」という反省点があり、以降完成度6割の段階でデザインの方向性を確認することを徹底した。以上の経験から得られた【完成度6割で上司に確認すること】は、インターンシップ以外だけでなく、現在取り組んでいるNPOの活動時や将来チームで仕事をする上でも、徹底しようと思う。

2点目の気づきは「問題をひとりで解決しようとしないうこと」である。渡航前は自分の思考や行動の癖として、「ひとりで抱え込む責任感」が根底にあった。しかし、今回のプログラムを通して、渡航前の準備や滞在中に問題に直面した時に、ひとりで抱え込むよりも周囲に相談することで解決できると気づいた。例えば準備段階である。今回が初の海外だったため、当初は何を準備すればよいか分からず途方に暮れていた。しかし、大学からの資料や留学経験のある友人のサポートのおかげで、事務手続きや荷物を抜け漏れなく用意することができた。また、滞在中もホテルの設備が壊れていたり、道に迷ったりするトラブルがあったが、コーディネーターやパディに頼り解決できた。

以上2点、【完成度6割で仕事を進めること】と【問題をひとりで解決しようとしないうこと】が当プログラムを通して得られた気づきである。

大学1,2年をコロナ禍で過ごした私にとって、大学在学時に海外経験を得ることは目標であったため、本プログラムで得られた成功や失敗は貴重な経験になった。渡航前は初の海外ということもあり、不安や心配が勝っていたが、インターン先の上司や同僚の方々のあたたかい受け入れにより、充実した時間を過ごすことができた。ナショナルホリデーの直前はチームで世界遺産の町であるホイアンに行き、親睦を深めることができた。

残りの学生生活は半期とわずかであるが、学業やゼミ活動に加え、現在取り組んでいるNPOの活動や長期インターンシップにおいて、本プログラムで身に付けたデザインスキルや仕事への姿勢を活かす所存である。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

留学費用項目 (申込時の料金は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	10000 円	
図書費	0 円	
学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	4000 円	Sim カード
現地通学費	5000 円	(研修先まで 15 分)
教養娯楽費	0 円	
被服費	20000 円	自分の趣味で買いました。全然買わなくて大丈夫です
雑費	60000 円	
その他	円	例:
その他	円	例:
合計	100000 円	

渡航準備について

1)ピザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
国際連携の事務室の方が行ってくれたので、特に困ったことはありませんでした。
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 現地の空港で交換したが、地元のモールなどで行った方がレートが良かった。 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
SIM カードは日本で用意して行っていた。現地で買っている人たちはいろいろ通信トラブルや、期限が切れた際などに面倒が起こっていたので、買って行って良かったと感じた。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
企業に入る前に土産物を渡すと良いと言われていたが、自分は荷物を最小限に抑えたかったため用意して行かなかった。 しかし、入ってから思った以上にベトナムの方が優しく接してくれ、変える前に日本のお土産を配りたくなかったが、用意していなかったため集めるのに手間がかかった。用意して行けばよかったと感じた

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？ その際どのように対処しましたか？
ダナンは治安がかなりいい街で防犯対策はほぼ行っていない。ホーチミンやハノイなどは大変だと聞いたが、ダナンは本当にいい街だと思う。
3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
自分は日本から用意して行ったが、特に問題を感じる事はなかった。 ただクラブは日本を離れる前にクレジットカードを登録しておかないと不便

滞在形態関連

1)留学中の滞在先の種類

<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input checked="" type="checkbox"/> ホテル
2)部屋の形態
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数2 人)
3)共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊不可)
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
二人部屋、幸い自分は相部屋の人に恵まれて無事に終える事ができた。こだわった点はあるが全く気を使わない点だ。せっかく留学に行っているわけだから、自分と向き合う時間も必要だと思う。相手に合わせるのではなく、お互いに好きなことをやる。干渉はしすぎない。でもリスペクトは欠かさず、困っていたら助ける。そのくらいの方がプログラムも充実するし、同部屋生活も上手いと感じた。

プログラムについて

プログラム参加前について記載してください

1)どのような目的でこのプログラムに申し込みましたか。

自分の目標である海外勤務のリアルを知るため。英語のスキル向上。ベトナムで現地の人と想いで作る。

2)参加するにあたっての目標はありますか。

日本人に甘えずに自分の生活を切り開きたい。
自分の英語スキルを受け入れた上で、積極的に話に行きたい。
生活を楽しんで最高の夏にしたい

3)申込時では、どのような業界で働きたいと考えましたか。

ITのソフトウェアで開発を行ってみたいと考えていた。
しかし全くの未経験だったため、採取的にはITのマーケティングのインターンをする事になった。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)どのような業界で実習を行いましたか。

ITのソフトウェアの製品のアジャイル開発を強みとする企業でマーケティングを行った。

2) 主要な実習内容を記載してください。

「LinkedIn」というリクルートメントの際に採用されるプロモーションアプリでの、記事の作成のしかた(どうすれば多くのビューワーから関心を得られるか、どういう画面が適切かなど)
顧客と接点を得たり、新しい市場を開拓する上で必要な、国際カンファレンスのリサーチを行った。

3)業界、仕事内容について、イメージとの違いはありましたか。日本との違いなどを感じた場合は、どう異なっていると感じたか記載してください。

マーケティングについては元々、きらびやかなものではなく、リサーチが土台となった上での広告であるが故、泥臭いものであるという事は知っていた。自分の会社はマーケティングをたった5人で回っていた、日本の企業も他部署よりは少人数で回していることは知っていたが、あまりにも少人数であり、責任の重大さと圧倒的な仕事量を抱えて仕事をしている上司の姿を目の当たりにした。

4) プログラムや実習内容について、良かった点、悪い点(大変だった点)を記載してください。

正直、自分は企業に恵まれた。お昼ご飯は毎食、誘ってくれ、仕事終わりの夜ご飯や、カフェ、プライベートも共に過ごした。企業の部活動にも参加できた。マーケティングで調べ物が多く、パソコンと向き合う時間が長い中、たくさんの人と接点を作り出してくれた企業の方には本当に感謝している。しかし自分はこの1カ月という短い時間でのインターンというプログラムはあまり有意義ではないと感じた。なぜなら1カ月のインターン生に責任が取れるわけもなく、信頼も仕事の上では確立できない。そんな人にアサインできる仕事など限られているに決まっているからだ。また、上司の方も本当に忙しく、自分にかけてもらえる時間も少ない事から、お互いにとって困惑が生じてしまうのではないかと感じた。しかし上司の方とも、会社の方ともたくさんの想いで作ることが出来、有意義であったことは間違いがないが、正直自分はかなり恵まれていたと他の人たちの話を聞いて感じた。

<p>5) プログラム参加の成果等を記載してください。</p> <p>海外の企業でも人間関係の面や、他の人との信頼関係の構築は自分は出来ると自信を持つことが出来た。自分に足りない所を知ることが出来た。もっと自分の強みとなるスキルを磨き、そのフィールドで活躍したいと感じる事が出来た。貴重な話や、考え方を会話の中で知ることが出来た。</p>
--

英語力／コミュニケーションについて	
<p>1) 申込時の英語スコアを記載してください。</p> <p>TOEIC770</p>	
<p>2) 渡航前に語学力向上に向け、どのような取り組みを行いましたか。</p> <p>大学の学部間共通講座や、政治経済学部でのACE、トップスクールセミナーなどを履修し、強制的に英会話を練習できる体制を作り実行した。</p> <p>海外旅行に行き、現地での生活に慣れ、現地の人との交流を図った。</p>	
<p>3) 実習/ホームステイでのコミュニケーションや英語力の向上について、工夫したこと、成果などを自由に記載してください。</p> <p>仕事場では、調べる時間が多く、あまり仕事で英語を話す機会が少なかったため、仕事が終わった後は、同僚や、FPT大学のベトナム人の友達と遊んだり、バーなどについて海外の方と国際交流を行った。</p>	

留学体験記

研修や生活全般、今後の展望等について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

<p>今回のプログラムはたった1カ月という短い時間です。そこで劇的に自分の英語を変える事は不可能です。また、最初は話せなかったという躊躇もこの短期のプログラムでは致命的かもしれません。最初からフルスロットルで行くためにも事前の英語の準備がとても大事だと思います。自分もこのプログラムで何が足りていないのかが分かったので、今後も勉強していく予定です。ちなみにベトナムは本当にいい国です。ベトナムに行って本当に良かったと感じています。皆さんの留學生活が楽しいものになるよう応援しています。</p>
--

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

留学費用項目 (申込時の料金は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	30000 円	
図書費	0 円	
学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	17000 円	ポケット WiFi
現地通学費	6300 円	(研修先まで Grab で17 分) たまにクーポン使えます。
教養娯楽費	5500 円	
被服費	6000 円	
雑費	10000 円	
その他	2000 円	例: 日本文化イベントで使用した道具の費用
その他	円	例:
合計	76800 円	

渡航準備について

1)ピザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
大学からのサポートがあったため特に困ったことはなかった。
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 念のため日本で1万円ほど替え、現地で2万円ほど替えた。足りなくなったらその都度両替していた。 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
私はポケット WiFi を準備しました。渡航前に余裕を持って受け取り、当日の空港受け取りは避けました。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
ベトナム料理に飽きてきたとき用に日本食を持っていけばよかった。 意外とクレジットカードが使用できないお店が多いので、現金はある程度持って行った方がいいと思う。

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等: Grab についてコーディネーターの方やバディの方に相談した。) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
事前学習でビデオを視聴した。また個人でもインターネットでベトナムの治安などについて調べた。防犯対策についてはバックを背中側に持たないことや、持ち物を必要最低限にするために小さな防犯用のポシェットを使用した。
3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
ベトナムに行く際には SIM カードを購入することを強くお勧めします。ベトナムでは Grab というタクシーアプリのようなものをかなり頻繁に使います。しかしそれを使うにはベトナムの電話番号を取得することが必要になるため、ポケット WiFi を持っていた私は Grab を使うことができませんでした。かなり不便だったので SIM カードを購入することが最善だと思います。

滞在形態関連

1)留学中の滞在先の種類
<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input checked="" type="checkbox"/> ホテル
2)部屋の形態
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 1人)
3)共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
日本と違って水道水が飲めないため、ホテルでの歯磨き、うがいなどはミネラルウォーターを使った方がいい。 ランドリーサービスがホテルにあっても、実際はホテルのすぐそばにあるランドリーの方が価格が安い場合があるのでよく調べてから行動すると無駄な経費を削減できる。

プログラムについて

プログラム参加前について記載してください

1)どのような目的でこのプログラムに申し込みましたか。
大学生のうちに海外経験をしたいと考えていて、1か月語学留学をするよりも1か月海外でインターンシップをする方が貴重な経験をすることができると思った。また私は将来就きたい職業が決まっていなかったため、このインターンシップに参加することで様々な経験をし、自分の将来に対する視野を広げたいと思った。
2)参加するにあたっての目標はありますか。
日本とは違う文化や生活習慣に触れ、異文化理解をすること。 パディやコーディネーターとの会話や Business English の授業の中で実践的な英語を使い、英語のスキルをあげること。 Japanese teaching assistant のインターンシップを通して、日本語が現地の人にどのように教えられているのかを知ること。 日本の文化を伝え、日本の魅力を伝えること。
3)申込時では、どのような業界で働きたいと考えましたか。
はっきりとは決めていないが海外の人と関わりを持つことができるような仕事に就きたいと考えていた。 また英語教室でアルバイトをしているため、教育系の職業にも興味があった。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)どのような業界で実習を行いましたか。
FPT 大学にて Japanese Teaching Assistant(日本語教師)として実習を行った。
2) 主要な実習内容を記載してください。
FPT 大学のベトナム人の生徒に対してひらがなをはじめとする日本語を教えるデモ授業を行った。日本語センターにて日本語の授業の見学をさせていただいた。また、日本の文化を体験することができるイベントを主催し、習字や折り紙、おにぎりの体験などを行った。
3)業界、仕事内容について、イメージとの違いはありましたか。日本との違いなどを感じた場合は、どう異なっていると感じたか記載してください。
インターンシップが始まる前は、ある程度日本語の知識がある生徒に教えるのだと思っていたが、実際はほとんど日本語を勉強したことのない生徒に教えるというものだったため、スライドにローマ字をふるなど、教え方に工夫が必要だった。 日本では授業の中でスマートフォンを使ったゲームを取り入れることは少ないと思うが、ベトナムでは kahoot というゲームが授業の中で頻繁に使われており、日本との違いを感じた。
4) プログラムや実習内容について、良かった点、悪い点(大変だった点)を記載してください。
インターンシップだけでなく Business English の授業もあったことで、自分の英語力や知識が向上したことはもちろん、日本人同士、またベトナム人のパディ達とも仲が深められたので、その後の現地での生活がより充実したものになった。実習については、トラブルによって FPT 大学が緊急で私たちの実習を受け入れてくれたにもかかわらず、自分のやりたい仕事をやらせてもらえ、トレーニングを通して日本語教師の仕事についてたくさん学ぶことができたため、とても満足した実習であった。
5) プログラム参加の成果等を記載してください。

実習を通して、日本語教師がどのように授業を作り、どのように生徒に教えているのかを学ぶことができた。日本文化を教えるイベントを通して、他国から見た日本のイメージや日本の魅力を知ることができ、習字などの様々な体験会を実施することで、日本の文化を伝え、魅力を伝えることができた。ベトナム人のバディと頻りに交流することができ、異文化理解やコミュニケーション能力を高めることができた。

英語力／コミュニケーションについて

1) 申込時の英語スコアを記載してください。
695
2) 渡航前に語学力向上に向け、どのような取り組みを行いましたか。
日常会話で使われるフレーズを中心に勉強し、より実践的な英語を使えるように準備した。 明治大学からの資料に載っていたインターンシップ中に役立つフレーズを練習した。
3) 実習/ホームステイでのコミュニケーションや英語力の向上について、工夫したこと、成果などを自由に記載してください。
私のインターンシップ先は 80%日本語で行うと事前に伝えられていたため、その前の Business English の授業では自ら英語を使用することを常に意識していた。また、ベトナム人のバディと食事をしたり、連絡を取る中で、英語を使う機会を自ら増やすように努めた。

留学体験記

研修や生活全般、今後の展望等について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

私はこのインターンシッププログラムが初めての海外渡航だったため、不安も大きく、1ヶ月以上のベトナムでの生活を無事に終えることができるのか心配でした。しかし現地のバディが常に私たちを支えてくれ、同じインターンシップに参加した日本人にもたくさん助けをもらいながら実習をしていました。とくにバディは休日のツアーにも同行してくれたり、SIM カードなどの問題にも対応してくれたりと、とても頼れる存在でした。そのため最初は不安でたまらなかった私も、楽しく充実した、また勉強にもなる夏休みを過ごすことができました。不安な気持ちが大きい人も多いと思いますが、周りと助け合いながら充実したプログラムを経験してください。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

留学費用項目 (申込時の料金は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	3万 円	
図書費	0 円	
学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	6600 円	
現地通学費	1万 円	(研修先まで 15分)
教養娯楽費	2万 円	
被服費	0 円	
雑費	2000 円	クリーニング代
その他	円	例:
その他	円	例:
合計	68600 円	

渡航準備について

1)ビザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
特にありません。
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 日本円を持参し、現地で両替しました。 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
SIM カードは現地で調達し、WiFi も現地のものを使用しました。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
機内でスマートフォンを使用したいならば、持ち歩きの WiFi を準備するべきだと思います。

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？ その際どのように対処しましたか？
ダナンは安全性が高かった為、これといった防犯対策はしていませんでしたが、人込みや観光地では手荷物を前で抱える等して盗難を防いでいました。
3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
現地は至る所に WiFi があったため接続等に困ることはありませんでした。しかし、SIM カードの有効期限が過ぎ、交換した際にシステムを理解していなかった為、再度購入する必要が有り、無駄な出費となっていました。

滞在形態関連

1)留学中の滞在先の種類

<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input checked="" type="checkbox"/> ホテル
2) 部屋の形態
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 1 人)
3) 共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊不可)
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
私が滞在したホテルは割り振られた部屋によって大きさがかなり異なっていたため、当たり外れがあると感じました。また、壁が薄いので話し声はよく聞こえてきます。日本と違ってバスタブは併設されていません。長期滞在していると慣れますが虫がよく出るので殺虫スプレーを使用する機会がありました。日本と異なる点は多くありますが、生活する分には困ることはなく、文化に順応していくことが大切だと思いました。

プログラムについて

プログラム参加前について記載してください

1) どのような目的でこのプログラムに申し込みましたか。

大学 1 年生の間では、将来のことなどは考えず自分が所属しているチームや大学生活に慣れることで精いっぱいだったので、今年チャレンジをしてみて自分の英語力を試したいという気持ちで申し込みました。

2) 参加するにあたっての目標はありますか。

英語力の向上はもちろんのこと、沢山の人と触れ合って自分が知らない文化を受け入れ、価値観を広げたいです。また、ホスピタリティーに重要なことを学んで将来活かせる自分の力を確かめたいです。

3) 申込時では、どのような業界で働きたいと考えましたか。

航空業界で働きたいです。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1) どのような業界で実習を行いましたか。

ホテル業界で実習を行いました。

2) 主要な実習内容を記載してください。

初めの 2 週間はホテルのバーでドリンクの提供を行いました。ドリンクの作成は出来ない為、バーテンダーがドリンク作成をしている間はお客様とのコミュニケーションを大切にしていました。後半の 2 週間は朝食ビュッフェ会場にてお客様の案内、テーブルのセッティングを行いました。

3) 業界、仕事内容について、イメージとの違いはありましたか。日本との違いなどを感じた場合は、どう異なっていると感じたか記載してください。

特にイメージの違いはなく、日本ともほとんど同じでした。しかし、そこまで汚くないランチョンマットは続けて使用する点や、テーブルの小さな食べかすなどを床に落として掃除をするなどの衛生面での違いはありました。

4) プログラムや実習内容について、良かった点、悪い点(大変だった点)を記載してください。

良かった点は自分の英語力を発揮して様々な国のお客様とコミュニケーションを図ることが出来た点です。一方で大変だった点はお客様が来ない際に非常に手持無沙汰になること、また、ホテルスタッフ同士ではベトナム語を使用する場面が多く雑談内容が全く分からなかった点です。

5) プログラム参加の成果等を記載してください。

私は将来キャビンアテンダントになりたいので、その目標を念頭に今回のプログラムに参加しました。ホテルスタッフの中には多くのホスピタリティー業の経験を持つ方がいて、ホスピタリティーに必要なこととは何なのか色々なお話を聞くことが出来ました。また、言語の壁はあれど、表情や仕草などは伝わるが多く、言語以上に大切なものも学ぶことが出来ました。

英語力／コミュニケーションについて

1) 申込時の英語スコアを記載してください。

TOEIC 745

2) 渡航前に語学力向上に向け、どのような取り組みを行いましたか。

通学時間でラジオ英会話、PODCASTを聞いていました。

3) 実習/ホームステイでのコミュニケーションや英語力の向上について、工夫したこと、成果などを自由に記載してください。

なるべく自分から話しかけてみることを大切にしていました。初めの方は聞くことで精いっぱいでしたが、慣れてくると気になることを聞くことが出来る様になりました。また、分からなかったことを流してしまうとあとから大変なことになりかねないので、分からなければ自分は理解していないと伝えることが大切だと思いました。

留学体験記

研修や生活全般、今後の展望等について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

私は将来 CA になることが夢なので、今回このプログラムに参加してホスピタリティーを学び、今後に生かしたいと考えていました。文学部の授業は実践的な英語の授業は少なく、国際日本学部の生徒などと比べると劣る部分は多くありましたが、自分で話してみようとする姿勢が自身を大きく成長させると感じました。また、英語力向上のために、ベトナム人の友達を作って、その人が参加しているディスカッションチームに参加しました。そこでは英語の使用のみが許可されており、私以外全員ベトナム人の大学生ではありましたが、コミュニケーションをとることができました。そして、英語力のみならず、インターンシップ期間では日本でも通じるホスピタリティーに必要なことを学ぶことが出来ました。自分が醸し出す雰囲気など言葉では表すことの出来ないものを学ぶことが出来たのは今後の自分の人生に大きな糧となると思っています。今までの私は、体育会に所属していることもあり、その生活をこなしていくだけで大学生活に満足していましたが、もっと視野を広げて、大学生活を豊かなものにしていきたいと感じています。自分の夢の実現のために、努力していきたいです。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

留学費用項目 (申込時の料金は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	13,653 円	
図書費	0 円	
学用品費	1,461 円	パソコン器具(マウス)×2
携帯・インターネット費	1,340 円	SIM代 1036+304=1340
現地通学費	12,000 円	(研修先まで 20分)
教養娯楽費	13,000 円	Ba Na hills ツアー代、ダナン周辺サイクリング観光、フエ市の観光、移動費
被服費	3,479 円	
雑費	5,000 円	
その他	円	例:
その他	円	例:
合計	49,933 円	

渡航準備について

1)ピザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
大学が用意してくれたため、特になし。
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 現地到着後、空港の両替店にて外貨両替した。 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
現地空港にて調達。バディーが SIM カード交換場所まで案内してくれた。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
レトルトの日本食(味噌汁、携帯おにぎり)、長袖の上着(冷房が強いため)、延長コード(部屋によってコンセントの数に限りがある)

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等: ルームメイトの発熱に関して、バディーに相談した。) 特記事項: 体調不良時の薬の調達は事前に調べておいたほうが、焦らずに済む
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
バディーから情報を収集。例)混雑した場所に行く際は、カバンを身体の前に保持しておく必要がある。
3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
SIM 購入した直後に、その SIM の電話番号が有効であるかを確認したほうが良い。(初めに買った SIM カードは通話ができない仕様になっており、途中であたらしい SIM カードに交換しなければならない場面があった)

滞在形態関連

1)留学中の滞在先の種類

<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input checked="" type="checkbox"/> ホテル
2)部屋の形態
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 2人)
3)共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊不可)
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
<p>ホテル全体に清潔感があった。スタッフの方もみんな笑顔で優しいため、とても住み心地が良かった。</p> <p>アドバイス:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホテル初日のエアコンの温度設定が 15℃になっており、その温度のまま生活をしてしまった生徒は、熱や体調を崩してしまっていた。 ・エアコンが一日中つけたままにすることになり、室内が乾燥しやすくなる。そのため加湿器を現地で購入することを勧める。 ・ホテルが用意してくれたドライヤーは、浴室の壁に備え付けられているため、持ち運びができない。そのため、ルームメイトが浴室を使用する際には、ドライヤーが使用できなくなるため、不便を感じたくない場合は、ドライヤーを持参することを勧める。

プログラムについて

プログラム参加前について記載してください

1)どのような目的でこのプログラムに申し込みましたか。

私は現在大学 4 年生で、来年度から IT 企業で社会人として働きます。大学生のうちにはかできないことをしたいという思いから留学を決意し、中でも IT 企業にインターンとして参加できる本プログラムに参加した。

2)参加するにあたっての目標はありますか。

IT 企業で働くことで知識を身に付け、実際に働く経験を積むこと。

3)申込時では、どのような業界で働きたいと考えましたか。

IT 企業

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)どのような業界で実習を行いましたか。

IT 企業

2) 主要な実習内容を記載してください。

テスターとしてプロジェクトに参画し、テストケースの作成や実行を学んだ。

3)業界、仕事内容について、イメージとの違いはありましたか。日本との違いなどを感じた場合は、どう異なっていると感じたか記載してください。

イメージとの相違はなかった。

4) プログラムや実習内容について、良かった点、悪い点(大変だった点)を記載してください。

・良かった点

IT 知識を身に付けることができただけでなく、実際にプロジェクトに参加することができたため、社会人としてのコミュニケーションの取り方を学ぶことができた。

・大変だった点

IT 知識がない状態で参加したため、覚えることが多く必死になって知識の定着を試みた。 英語と日本語を話せる社員さんが限られているため、初めの頃はどのようにコミュニケーションを取るべきか困惑した。
5) プログラム参加の成果等を記載してください。
<ul style="list-style-type: none"> ・IT に関する知識の習得 ・社会人としての報告連絡相談の仕方を習得 ・エンジニアの働き方を知ることができた

英語力／コミュニケーションについて
1) 申込時の英語スコアを記載してください。
TOEIC 750
2) 渡航前に語学力向上に向け、どのような取り組みを行いましたか。
<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン英会話への登録を行なった。 ・youtube などの動画サイトでベトナム人の英語発音を学んだ。
3) 実習/ホームステイでのコミュニケーションや英語力の向上について、工夫したこと、成果などを自由に記載してください。
毎日、ベトナム人の友人やバディーと積極的にコミュニケーションを取った。1 か月間、毎日英語を使用することによって、基本的な日常会話をすることができるようになった。

留学体験記

研修や生活全般、今後の展望等について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

<p>本プログラムを通して、1 か月という短い期間ではあったが自己成長を遂げることができたと思う。また参加前に掲げていた目標は全て達成することができ、今後に行なうべき行動指針も明らかにすることができたため、自分がすべきことに向けてこれからは力を注いでいくことに充足した気持ちでいっぱいである。</p> <p>ただ、留学期間は多くの困難や課題を抱える機会にぶつかることがあった。それは楽しい気持ちだけでなく、苦しい思いをしたこともあったが、その困難を共に乗り越えた友人とはかけがえのない絆を築くことができたと感じており、課題解決をしたことで自己肯定感も高めることができた。もしも周りで留学に行くことをためらっている知人がいたら、困難を超える大きな喜びの存在を伝えたいと思う。</p>
--

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

留学費用項目 (申込時の料金は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	30.000 円	ローカルフードは 100 円、ビーガンフードは 500 円ほど
図書費	0 円	
学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	1.700 円	SIM (30 日で 120G)900 円 SIM の更新(1日1G が 10 日分)750 円
現地通学費	一回 80 円	(研修先まで 20 分)
教養娯楽費	10.000 円	バナヒルズツアーの費用として 6500円。古都フエへの訪問に3500円
被服費	10.000 円	観光地、ローカル市場での購入
雑費	30.000 円	日本の親族、友人へのお土産
日用品	10.000 円	例: 日焼け止め、化粧水、ボディケア用品等
その他	円	例:
合計	100.000 円	

渡航準備について

1)ビザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
特になし
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
SIMカード(Wifi: 120G/1か月)をダナン空港にて購入
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
(助かったもの) 大量のウェットティッシュ、水に流せるティッシュ、ジップロック、ラップ、タッパー、折り畳み傘(日傘)、日焼け止め、滞在日数分のマスク、手洗い石鹸、一滴消臭元、ノート、ハンガー、カーディガン(ベトナムの室内は寒い)、イヤホン

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
チャック付きのリュックサックを常に前に抱えていた。 携帯電話を落としたが、一時間後、ケースに挟んでいたお金は抜かれていたが、端末は手元に戻ってきた。
3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
特に問題なし

滞在形態関連

1)留学中の滞在先の種類

<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input checked="" type="checkbox"/> ホテル
2)部屋の形態
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 2人)
3)共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
<p>私たちは Nostalgia DS Hotel に滞りました。一日一回清掃が入りますし、トイレトペーパーも流れます。ユニットバスのような構造の部屋(空間は広い)に、透明のガラスのドアで仕切られたシャワールームがついています。ドアに少しスキマがあるため水漏れはしますが、生活に困ることはない程度です。部屋によって広さが非常に異なるようですが、一番狭い部屋に割り当てられても一か月かなり快適に生活することが出来ました。(ツインベットと勉強机にもなる棚、テレビ、服の収納棚がありました)ただ、椅子が一つしかなかったため(広い部屋は椅子が三つあったようです)、勉強やパソコンを使った作業を二人同時に行う際は、片方は椅子、片方はベッドに座る状態でした。鏡はベッドが置いてある部屋と洗面台の一つずつついています。</p>

プログラムについて

プログラム参加前について記載してください

1)どのような目的でこのプログラムに申し込みましたか。
留学とインターンシップの両方を同時に体験するため。
2)参加するにあたっての目標はありますか。
英会話力の向上 海外の職場の雰囲気を知り、今後のキャリア設計に役立てる ベトナムにおける農業の立ち位置を知る
3)申込時では、どのような業界で働きたいと考えましたか。
広告業界

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)どのような業界で実習を行いましたか。
大学の事務
2) 主要な実習内容を記載してください。
勤務した大学の留学生にベトナムの食文化を紹介するためのスライド作成 日本にあるグローバル志向の大学に関する情報の収集 勤務した大学の留学生が参加できるベトナムのボランティア団体に関する情報の収集
3)業界、仕事内容について、イメージとの違いはありましたか。日本との違いなどを感じた場合は、どう異なっていると感じたか記載してください。
職場の雰囲気に違いがみられた。フレックス制で、昼食後に昼寝をする習慣があった。
4) プログラムや実習内容について、良かった点、悪い点(大変だった点)を記載してください。
一週目の Business English の内容が非常に良かった。アウトプットがプレゼン式だったため、「伝える」ということを意識した英語の訓練が出来た。また、プレゼンの内容によっては、英語以外の分野(例えば、明治大学において自分が専攻している学術分野)の知識を使用することも出来た。
5) プログラム参加の成果等を記載してください。

Excel、Google slide のスキルの向上
英会話力の向上
キャリア設計の材料

英語力／コミュニケーションについて	
1) 申込時の英語スコアを記載してください。	TOEIC 680点
2) 渡航前に語学力向上に向け、どのような取り組みを行いましたか。	特に準備していない
3) 実習/ホームステイでのコミュニケーションや英語力の向上について、工夫したこと、成果などを自由に記載してください。	出来るだけ英語で質問、会話、反応を行う機会を設けた。

留学体験記

研修や生活全般、今後の展望等について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

留学には興味があるが、どんな分野を専攻したいかなどの具体的な考えがまだまとまっていない方は、まずこのプログラムに参加してみることをおすすめします。留学は、短期プログラムだと2週間や3か月、長期プログラムだと半年から1年であることが多いですが、このプログラムは1か月間なので初めて留学を経験される方には非常にちょうど良い期間であると思います。またベトナムの料理は日本人の口に合うと共に、スーパーには日本製の商品も並んでいるため、生活に必要なものは現地で揃えることが出来ます。

もし「英会話力の向上」のみが目的で留学を考えているのであれば、今一度「本当に留学をする必要があるのか」を考えてみてほしいです。私が留学で得た学びは、もちろん英語関係のこともありましたが、8割はそれ以外のことでした。日本でも英会話力を磨くツールは数多く存在しているため、英会話力を伸ばすことだけが目的であれば、それらを利用するのでも十分だと思います。

私は、アメリカ合衆国で農業を学ぶため、来年度に三か月間の留学をしようと考えていました。しかしながら今は、「自分は本当に留学がしたいのか」「わざわざアメリカで農業を学ぶ必要があるのか」など、この経験があったからこそ生じた自分への問いかけと日々向き合っています。

このプログラムが私の今後の生き方に大きく影響を及ぼすものとなったことは間違いありません。ルームメイト、上司、同じくしてこのプログラムに参加した明治大学の学生、ベトナムの人々、そしてベトナムという国との関わり全てから今の自分、これからの自分がつくられていくことを強く実感しています。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

留学費用項目 (申込時の料金は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	55,000 円	
図書費	0 円	
学用品費	120 円	
携帯・インターネット費	1,400 円	
現地通学費	5,000 円	(研修先まで 10 分)
教養娯楽費	25,000 円	
被服費	1,600 円	
雑費	35,000 円	
その他	円	例:
その他	円	例:
合計	123,120 円	

渡航準備について

1)ピザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
特にありません。
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 現地空港で両替するのが良いと聞いたので、日本円を持っていき現地で両替しました。 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input checked="" type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
空港でプリペイド式の SIM カードを購入しました。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
コンセントが少なかったのですが、延長コードを持っていったので助かりました。また、夏で暑かったので、ポータブル扇風機も活躍しました。加えて、ホテルにいる時の娯楽用に何かあったほうが楽しいかもしれません。今回は相部屋だったので、一緒に部屋で映画を見たりゲームをしたりしました。

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等: FPT 大学のコーディネーター) 特記事項: ホテルのグラスを落として割ってしまった時に連絡しました。
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
現地の治安についてはインターネット等を使って調べました。現地では、鞆は常に前に持ったり、財布をあまり広げて出さないようにしたりなどの対策を行ないました。
3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
通信に問題がある人もいたようですが、私は特に問題はありませんでした。問題があった人も、コーディネーターの方に相談して SIM カードを交換するなどして、問題を解決していました。

滞在形態関連

1)留学中の滞在先の種類

<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input checked="" type="checkbox"/> ホテル
2) 部屋の形態
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 2人)
3) 共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊不可)
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
ホテルだと部屋の広さなどに差があり、私は狭い部屋だったので最初は少し不満に思っていたのですが、一ヶ月も過ごしていればなんとも思わなくなり、逆に快適になってくるので、あまり気にしすぎないのが大切だと思います。また、電子機器を多く持って行く人は、充電のためのコンセントの数が少ないかもしれないので、延長コードなどを持って行くことをお勧めします。一ヶ月の共同生活なので最初は少し疲れますが、あまり気負いすぎずに生活することがホームシック等にならないためにも大切だなと思いました。

プログラムについて

プログラム参加前について記載してください

1) どのような目的でこのプログラムに申し込みましたか。

大学入学前から留学やマーケティングに興味があり、将来は多国籍企業でマーケターになりたいと思っていたのですが、マーケティングについてのイメージはあるものの、実際どういことをしているかというはよくわかっていなかったため、本当に自分にあった職業なのか体験してみたいと思っていたところこのプログラムのことを知り、私の求めるものに合致していたので申し込みました。

2) 参加するにあたっての目標はありますか。

私は人と親しくなるのに少し時間がかかるタイプなのですが、このプログラムを通して、海外の文化、ビジネス、マーケティングについてなるべく多くのことを得られるよう、積極的に同じインターンの生徒や現地企業で働く人たちとコミュニケーションを取れるように努力したいです。そして上記の点について一つでも多く学ぶことが私の目標です。

3) 申込時では、どのような業界で働きたいと考えましたか。

上記の通り私はマーケティングのことについて学びたくこのプログラムに申し込んだので、業界についてはあまり考えていませんでしたがマーケティング部門で働くことを志望していました。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1) どのような業界で実習を行いましたか。

E-Commerce

2) 主要な実習内容を記載してください。

派遣先企業の販売しているキャンドルの、日本展開に向けた市場調査と価格設定やターゲット層の提案、調査結果のレポート作成、ポテンシャルのあるマーケティング戦略の提案

3) 業界、仕事内容について、イメージとの違いはありましたか。日本との違いなどを感じた場合は、どう異なっていると感じたか記載してください。

マーケティングと言えば、データの分析と戦略の考案などのイメージがありましたが、実際は、一番ベースのところはサーチであり、そこを完璧にした上で初めて分析や戦略考案のパートがあるということがわかりました。また、就業時間は日本と同じような感じだったのですが、服装などは日本と違いラフな格好で、またオフィス内では靴を脱ぐのが少し驚きました。

4) プログラムや実習内容について、良かった点、悪い点(大変だった点)を記載してください。

マーケティングの基礎について、インターンの活動を通して知ることができたのでよかったです。また、インターン以外の観光などの活動も、いろいろな学部、学年から集まった他の明治の学生や、パディーをしてくれているベトナム現地の大学生と交流する場となりよかったです。職場の上司の方はあまり英語で話すことが得意ではない方だったので、コミュニケーションは基本テキストベースだったので、言語などの壁により言葉のニュアンスやディテールなどが伝わりにくく、理解に差が生じてしまったことがあった時は大変でした。

5) プログラム参加の成果等を記載してください。

インターンの活動を通しては、マーケティングの基礎はリサーチであり、その上にデータ分析や戦略考案などがあるということがわかりました。また、コミュニケーションについて、相手の意図を慮るだけではコミュニケーションは成立しないことがあるということを改めて痛感しました。そのため、コミュニケーションを多く取り会話の中身を詰めていくことが大切であるとわかりました。

英語力／コミュニケーションについて

1) 申込時の英語スコアを記載してください。

TOEIC IP 905

2) 渡航前に語学力向上に向け、どのような取り組みを行いましたか。

英語を喋るという機会が日本ではあまりないので、英文を音読してみたり、シャドーイングをしてみたりして、スピーキングの練習をしました。

3) 実習/ホームステイでのコミュニケーションや英語力の向上について、工夫したこと、成果などを自由に記載してください。

ベトナムの公用語は英語ではないので英語力の向上という点では大きな成果というのはありませんが、コミュニケーションについて、英語があまり得意ではない相手に自分の意思を伝えるにはどうすればいいかなどを考えながら会話するということは、実際に現地生活しながら学ぶことができました。

留学体験記

研修や生活全般、今後の展望等について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

私は今回のプログラムを通して、主に二つのことを学びました。一つはマーケティングの基礎について、もう一つはコミュニケーションの大切さです。マーケティングについては、多くのリサーチを行い、レポートを作成することで、データを集めること、データの分析の大切さを学びました。また、コミュニケーションについては、職場や街中、友人となど多くとる機会がありましたが、それぞれ適切なコミュニケーションの形があり、特に職場や街中では言語の違いを考慮しながら会話するということを学ぶことができました。今後の学校生活や、社会に出た際にも、今回得た知識や経験を活かし、自分をレベルアップさせていきたいと思えます。このプログラムへの参加を考えている方の中には、一ヶ月という期間、海外で生活しインターンを行うことに不安を持っている方も多くいるかと思えます。私も実際に現地に行く前は不安が大きく、行く前からホームシックのようになっていましたが、実際に行ってみると不安よりも期待や楽しさが勝って、ホームシックになることもなく一ヶ月過ごすことができました。確かに大変なことや自分の思い通りにならないこともありましたが、同じ明治から来た仲間と話したりすることで疲れを癒したりしながら活動できるので、外国とはいってもそんなに負担なく生活することができます。私はこのプログラムに参加したことで、他では得られないとても貴重な経験をすることができました。そのため、少しでもこのプログラムに興味がある方は、ぜひ参加してみることをお勧めします。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

留学費用項目 (申込時の料金は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	37080 円	
図書費	0 円	
学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	1200 円	
現地通学費	19321 円	(研修先まで 15 分)Grab のタクシーを利用。ホストカンパニーまで。
教養娯楽費	67568 円	
被服費	8846 円	
雑費	14937 円	
その他	23874 円	例: 医療費 1 週間体調を崩し病院にも行った。
その他	7969 円	例: 日用品費
合計	180795 円	

渡航準備について

1)ビザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
なし。
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 日本と現地にて両替。日本はレートが悪く、現地で全て両替すればよかったと後悔。 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input checked="" type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
空港で購入
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
薬を持って行ったこと。ハンガーがあればよかった。

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等: sim カードの通信容量を超え、会社の上司にデータをチャージしてもらった。風邪をひき、コーディネーターに相談。ホテルフロントに 1 人 1 セット抗原検査キットがあると知る。薬も調達してもらった。) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
インターネットで調べた。夜は 1 人で歩かないようにした。パスポートは常に携帯していた。
3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
Sim カードは空港で渡されたものが不良品で電話が繋がらず、コーディネーターに相談し交換してもらった。

滞在形態関連

1)留学中の滞在先の種類

<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input checked="" type="checkbox"/> ホテル
2) 部屋の形態
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 2 人)
3) 共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊不可)
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
ホテルはバスルームのドアが閉まらない、ケトルが壊れているなど様々な不良があった。不良は初日に発見し、すぐにフロントに相談するのが良い。

プログラムについて

プログラム参加前について記載してください

1) どのような目的でこのプログラムに申し込みましたか。
これまでの海外経験を実際の業務に活かしたかった。就職予定である外資企業で働くイメージをつけたかった。
2) 参加するにあたっての目標はありますか。
ベトナムのワーキングカルチャーを知る。マーケティングに関する知識を深める。
3) 申込時では、どのような業界で働きたいと考えましたか。
IT 業界のマーケティング職

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1) どのような業界で実習を行いましたか。
IT 業界のマーケティング職
2) 主要な実習内容を記載してください。
マーケットリサーチ、資料作成、自社サービス発案
3) 業界、仕事内容について、イメージとの違いはありましたか。日本との違いなどを感じた場合は、どう異なっていると感じたか記載してください。
最初は実在するプロジェクトに配属されず、やりがいを感じなかった。日本と違い立場に関わらずラフなコミュニケーションがとりやすく、自分の要望を伝えたところ実際のプロジェクトに配属された。
4) プログラムや実習内容について、良かった点、悪い点(大変だった点)を記載してください。
開発中のプラットフォームのコンテンツ発案などに関われたことが面白かった。マーケティング部署に配属されたもののマーケティング担当がおらず自力で難解な部分も調べ上げなければいけない点が大変だった。
5) プログラム参加の成果等を記載してください。

社会的になること、知らないことも自分で考えてとりあえず成果物にすること、タスクの重要度を見極めて時間を配分することの重要性を学んだ。これらから、仕事のミスが減り、周りの上司とも良好な関係が築け、仕事の成果も認められるようになった。

英語力／コミュニケーションについて	
1) 申込時の英語スコアを記載してください。	TOEIC 900
2) 渡航前に語学力向上に向け、どのような取り組みを行いましたか。	英語のみを使用するアルバイト、授業を積極的に取り入れる。
3) 実習/ホームステイでのコミュニケーションや英語力の向上について、工夫したこと、成果などを自由に記載してください。	最初はベトナム人しかいない職場で会話に入ることが難しく、疎外感を感じたが、積極的な発信をすることで頻繁に会話をするようになり、とても仲良くなった。

留学体験記

研修や生活全般、今後の展望等について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

インターンシップでは3つの重要な学びを得ることができました。それらは Be Open, Be Curious, Be Fast です。以下ではそれぞれの学びをどのように得たのか、経験を交えて説明します。

まず1つ目の学びは Be Open です。インターンシップ序盤、私は周りに対してオープンになることができませんでした。これには二つの理由がありました。1つ目は自分の知識に自信がなかったからです。そのことを恥ずかしく感じ、基本的な内容について質問することを躊躇っていました。2つ目は言葉の壁です。社員さんは皆ベトナム語で会話をしており、初日はあまり話しかけることができませんでした。しかし、これは2つの問題を起きました。1つ目は、誤解が生じたことです。1日のタスクについて簡単に説明を受けた後、あまり報告や相談をすることなく仕事を進めました。その結果、丸一日かけて求められていたものとは別の成果物を完成させてしまいました。2つ目は関係性の構築です。社員の方との距離を縮めることができませんでした。そこで、2つの行動を起しました。1つ目は、わからないことについて正直に質問することです。2つ目は、会話の回数を増やすことです。会話を増やすため、私は二つのことをしました。まず、仕事に独り言をいうことです。「これはどういう意味なんだろう。」などと英語で独り言を言いました。すると、社員さんの方から「どうしたの？」という風に話しかけてくれ、会話のきっかけが生まれました。会話を増やす方法の2つ目は、静かになった時チーム全体に向けて雑談を始めることです。すると、会話の流れを英語にすることができ、これらの行動を起した結果、仕事のミスが減り、成果が認められました。さらに当初予定になかった実際のプラットフォーム開発プロジェクトへの参加を認められました。また、社員さんとの中も深まり、お昼ご飯に連れて行ってもらったりみんなでカラオケ大会をしたりするほど仲良くなりました。

2つ目の学びは Be Curious です。私はマーケティングインターンのポジションにアサインされたにも関わらず、マーケティング部門は主にシンガポール本社にあり、ベトナム支社にはマーケティング担当者がおらずでした。ここで問題だったのは、私がマーケティングの進め方を知らなかったということです。そこで、インターネットを活用しました。具体的にはコラムや統計サイトを用いて国内外の競合を洗い出し、コンテンツ、コスト、ターゲット、オペレーションプラットフォーム

フォームなど分析した。また、会社のアカウントで実際のトライアルを登録したり、構想中のプラットフォームのサイトマップも作りました。その結果、プロジェクトへの本格的な参加が決定し、社内で会社の方向性を話し合うビジネスデベロップメントミーティングのメンバーに選ばれました。

3つ目の学びは Be Fast です。プログラム終盤に近づくにつれ、タスクが難解になってゆきました。また、ミーティングも立て続けに入るため時間がありませんでした。そんな中再び問題が起きました。ある報告資料の作成中、情報収集が困難なパートがあり、なかなかそこから仕事を進めることができませんでした。そこである行動を取りました。それは無駄をなくすということです。まず、タスクを全体的に俯瞰し、その箇所は本当に必要なかを自分に問いかけました。具体的には資料を上司に報告する場面を想像し、上司がその箇所に目を通すかを考えました。最終的にはその箇所をプロジェクト進行に関して重要度が低いと判断し、60%の完成度で次のタスクへ進むことを決めました。また、余った時間と体力をプロジェクトのアイデア出しに割きました。そして、自分の予想は的中しました。上司は資料に基づくミーティングにおいて、難解なページを飛ばして進行了しました。そして私が余った時間で出していたバーチャルユニバーシティのアイデアが採用され、曖昧であった新しいプラットフォームサービスを具体的にビジュアライズすることができました。

卒業後は外資のコンサルティング会社に就職予定です。そして将来的には海外のクライアントを持つたり、日本企業の海外進出支援を行いたいと思っております。今回のインターンシップで得た3つの学びである Be Open, Be Curious, Be Fast を常に意識して、コンサルタントとして世界を舞台に活躍していきたいです。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

留学費用項目 (申込時の料金は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	30000 円	
図書費	円	
学用品費	円	
携帯・インターネット費	1500 円	
現地通学費	3000 円	(研修先まで 約10分)
教養娯楽費	30000 円	ツアー、観光等
被服費	円	
雑費	2000 円	クリーニング代
その他	15000 円	例:お土産代
その他	円	例:
合計	81500 円	

渡航準備について

1)ビザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
特になし
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 現地空港にて換金 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input checked="" type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
現地空港にて調達
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
体温計や風邪薬、胃腸薬。基本的に現地のスーパーマーケットや薬局で何でも買うことができますが、急な体調不良に備えられるように体温計や薬などをある程度揃えておくと安心です。

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例:研修の相談窓口、現地の友人等)
<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等: コーディネーターやバディ) 特記事項: sim の不良や体調不良などで相談
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
旅レジ(外務省の海外情報を受信できるサービス)より収集。 自分を含め犯罪に巻き込まれるといった話は聞きませんでした。スリ対策で常にカバンを前に持つように気を付けていました。
3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
最初購入した SIM カードではアプリの電話番号登録ができないという不備があったためバディに交換してもらいました。 SIM カードを購入したらその場で電話番号が有効か確認したほうがいいです。

滞在形態関連

1)留学中の滞在先の種類

<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input checked="" type="checkbox"/> ホテル
2) 部屋の形態
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 2人)
3) 共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊不可)
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
ホテルの近くにはスーパーや薬局、ランドリーなど充実しており快適に過ごすことができました。部屋には水、スプライト、カップラーメンが備えられており、チェックアウト時にそれらが有料だと判明したので気になる人は最初に確認しておくといいかもかもしれません。

プログラムについて

プログラム参加前について記載してください

1) どのような目的でこのプログラムに申し込みましたか。
海外で働くことに対して漠然とした憧れがあり、海外で働くことが自分にとってどのようなことを理解したいと思いこのプログラムに参加しました。また短期での留学も視野に入れていたため、海外での就労に加え自分の英語力を計る良い機会だと思い参加しました。
2) 参加するにあたっての目標はありますか。
自分が将来どのように働きたいか、自分が海外で働くうえでの適応力があるのかを明確にする。 多くの人とコミュニケーションをとり、英語力を向上させる。
3) 申込時では、どのような業界で働きたいと考えましたか。
ビジネスの業界でブランディングやマーケティングに携わりたいと考えていました。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1) どのような業界で実習を行いましたか。
大学
2) 主要な実習内容を記載してください。
イベントで行われる出し物の企画や、インバウンドマーケティングについての課題、フェイスブック投稿の練習
3) 業界、仕事内容について、イメージとの違いはありましたか。日本との違いなどを感じた場合は、どう異なっていると感じたか記載してください。
マーケティングについて、もっと実践を学べるイメージがあったが、主にしたことは座学的な課題でした。 また事前に仕事内容が明確に決まっておらず、その日にいきなりこれをやると言われることが多いという印象。
4) プログラムや実習内容について、良かった点、悪い点(大変だった点)を記載してください。
インターン先の方々は皆さん親切でした。しかし前述した通り、事前に仕事内容の詳細が教えられていない点や、明確な仕事を与えられない時があり、先行きが不安になる時がありました。
5) プログラム参加の成果等を記載してください。

イベントを企画する際にどのような点を意識すべきなのか、主催する側にとって必要な視点を学ぶことができました。また、よりマーケティングについて学びたいと思うきっかけを得ることができました。
仕事がもらえない時や、何をすればよいか分からなくなった時に自分から積極的に行動することの重要性を学びました。

英語力／コミュニケーションについて

1) 申込時の英語スコアを記載してください。

TOEIC680

2) 渡航前に語学力向上に向け、どのような取り組みを行いましたか。

TOEIC の勉強や YouTube で英会話系の動画を見ていました。

3) 実習/ホームステイでのコミュニケーションや英語力の向上について、工夫したこと、成果などを自由に記載してください。

友人たちが話す英語のフレーズの真似をしたり、話す際にうまく伝えられなかった内容を後で英訳したりして、次は伝えられるようにメモしていました。インターン中に相手の英語を聞き取れなかったときは、紙に書いてもらい話している内容を文字で明確にするように意識していました。

留学体験記

研修や生活全般、今後の展望等について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

私は今回ベトナムのインターンに参加し、非常に有意義な時間を過ごすことができたと感じています。海外で働くということは、その環境において自分がマイノリティの立場になるということです。今回のプログラムでよりそれを実感し、私自身の海外で働くことに対しての視野が広がったと感じました。またプログラム期間中、体調を崩し数日部屋から出られなくなったり、SIM カードに不備があったり、インターン先では仕事についての問題が生じたりと様々なハプニングが起きました。しかしこれらの経験を通して、問題に対処する力が身についたと考えています。

私は旅行以外で海外に滞在することは初めてであり、初めは不安もありましたが現地のコーディネーターやバディの方々、他の参加者の皆のおかげで充実した生活をすることができました。今後、今回のプログラムを通して得られた経験を糧に今後自分の将来について考えていきたいと思えます。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

留学費用項目 (申込時の料金は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	35000 円	
図書費	円	
学用品費	円	
携帯・インターネット費	4000 円	
現地通学費	15000 円	(研修先まで 20 分)
教養娯楽費	20000 円	
被服費	20000 円	
雑費	26000 円	お土産など
その他	円	例:
その他	円	例:
合計	120000 円	

渡航準備について

1)ビザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか

大学側が全て手続きを行なってくれたので、特にありません。申請するために一ヶ月間パスポートが手元にない状態になるので、語学試験(TOEFL や IELTS)を受験予定の方は注意してください。

2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか

現金の用意方法: 空港で両替

その他用意したもの: クレジットカード デビットカード・キャッシュパスポート

3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか

SIM カード: 空港到着時に自分たちで購入しました。

WiFi: 街中、飲食店、職場全てに WiFi はあるので準備しなくていいと思います。

4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか

薬(風邪薬と整腸薬): 現地の飲み薬は規格外の大きさなので、持って行ったほうがいいです。

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 研修の相談窓口、現地の友人等)

なし あり (問題の内容や相談した人等: コーディネーター、職場の業務内容)

特記事項:

2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

渡航前にインターネットで調べた通り、ダナンは治安が良かったです。盗難等に巻き込まれたことは、私を含めませんでした。

3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

ホテルの WiFi は回線速度が遅かったです。カフェや職場では問題なく利用できました。

滞在形態関連

1)留学中の滞在先の種類

<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input checked="" type="checkbox"/> ホテル
2) 部屋の形態
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 2人)
3) 共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
他大学の生徒と共有して滞在しました。設備に関しては、不十分だと感じるが多かったです。(金庫がない、バスルームの鍵が壊れている、水漏れ、ある部屋ではゴキブリが出たりと)三つ星ホテルと事前に伝えられていましたが、レセプションでさえも英語が通じなかったので驚きました。

プログラムについて

プログラム参加前について記載してください

1) どのような目的でこのプログラムに申し込みましたか。

一年生のうちに何か海外経験をしてみたいと考えていたため。また、英語を学ぶというよりツールとして用いたいという意思もあり、語学留学は避けたいという意思があったのでより実践的なプログラム内容である、海外でのインターンシップに参加することを決意した。

2) 参加するにあたっての目標はありますか。

英語力だけでなく、専門的な知識を身に付けたい。マーケティング部門で働くので、マーケティングについての知見を深めたい。

3) 申込時では、どのような業界で働きたいと考えましたか。

IT 業界やマーケティング業界

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1) どのような業界で実習を行いましたか。

ブランディングに特化したマーケティング会社

2) 主要な実習内容を記載してください。

- ・Fanpage 用のキービジュアル制作
- ・競合他社の分析

3) 業界、仕事内容について、イメージとの違いはありましたか。日本との違いなどを感じた場合は、どう異なっていると感じたか記載してください。

特にタスク内容があらかじめ定まっておらず、自身の裁量で内容を定めることができました。競合他社分析で感じたのは、ベトナムでのマーケティングは SNS プロモーションに特化しているが多かったです。

4) プログラムや実習内容について、良かった点、悪い点(大変だった点)を記載してください。

良かった点

- ・ビジネスシーンで英語を使えた
- ・Feedback を丁寧にもらえた

悪かった点

- ・転職前の会社は、職場についての情報がほとんどなく、業務内容も曖昧だった

5) プログラム参加の成果等を記載してください。

- ・ビジネス英語を理解し、実践できた
- ・分析レポート・キービジュアル作成の手法

英語力／コミュニケーションについて

1) 申込時の英語スコアを記載してください。

英検準一級、IELTS5.5

2) 渡航前に語学力向上に向け、どのような取り組みを行いましたか。

学校の学習にしっかり集中したこと、毎日英語に何かしら触れる(やる気のない時でも洋楽や洋画を用いて英語に触れるようにしていました)

3) 実習/ホームステイでのコミュニケーションや英語力の向上について、工夫したこと、成果などを自由に記載してください。

英語話者がとても少ないので、翻訳機は必須です。コミュニケーションを図る上で、英語だけで通じることは稀でした。

留学体験記

研修や生活全般、今後の展望等について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

留学に行く上での判断基準として、英語力を身につけるのではなく、英語をツールとして用いることに重きをおいていたため、今回この海外インターンシップのプログラムを選択しました。海外渡航もインターンシップの経験もなかったので、プログラム中に苦戦することも多々ありましたが、現地のコーディネーターやパディの存在が大きな支えとなりました。前述の通り、ベトナムではまだ英語話者が少なく、現地の人や会社の人とさえも英語で会話することができませんでした。しかし、パディと積極的に交流することでいくらかでも英語を使う機会を設けることはできましたし、お互い英語が第二言語なので会話で滞ったとしても汲み取ろうという姿勢でコミュニケーションをすることができました。業務外での過ごし方については、17:00で退勤でき、土日が休みなので観光の時間も十分確保できます。アドバイスは、英語力を伸ばすためにはフットワークの軽さが大切だと思います。誘ってもらえたらとありあえず行ってみる、あるいは自分から何をしたいか・どこにいきたいかを伝えてください。出会い厨のマインド大事です。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

留学費用項目 (申込時の料金は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	40000 円	ベトナム料理は基本的に安い。一食300円もしない程度
図書費	円	
学用品費	円	
携帯・インターネット費	1400 円	現地購入 SIM
現地通学費	600 円	GRUB の車に三人で乗車、割り勘一人当たり(研修先まで17分程度)
教養娯楽費	30000 円	内、参加したバナヒルズツアーが9000円ほど。
被服費	15000 円	現地の服を気に入り、たくさん購入した。
雑費	円	
その他	10000 円	例:お土産
その他	円	例:
合計	97000 円	

渡航準備について

1)ビザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
特になし
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 空港そばの両替所にて10000円ほど両替後、足りなくなったらレートの良いロツテマート(ホテル付近のショッピングモール)にて両替 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input checked="" type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
空港そばの店でみんなと購入
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
ウエットシート、トイレ用のティッシュ、日除けの上着、日焼け止め (現地のコンビニで揃うので持っていかなくても特に問題はない)

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例:研修の相談窓口、現地の友人等)
<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:コーディネーター) 特記事項: 研修先とのスケジュールの伝達にトラブルがあった
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
ガイダンスで海外の治安などについて試聴し不安に思っていたがダナンの治安はよく、犯罪に巻き込まれることはなかった。だが観光地に行く際は警戒が必要のように思う。
3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
特に問題なし。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類
<input checked="" type="checkbox"/> 寮・アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル
2) 部屋の形態
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 2人)
3) 共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊不可)
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
私の割り当てられた部屋は角部屋ではなかったため、多少圧迫感があった。だが受付の人々が優しく、ルームサービスもしっかりしていて一ヶ月十分快適に過ごせた。鍵が一個しかなく、オートロックだったので片方の外出中の入浴などのタイミング調整をする必要はあった。

プログラムについて

プログラム参加前について記載してください

1) どのような目的でこのプログラムに申し込みましたか。
自分の気になっている言語教育分野のインターンに参加するため。英語を学べること、費用が高すぎないことなどの条件を考慮してこのプログラムがベストだった。
2) 参加するにあたっての目標はありますか。
英語を用いた自然なコミュニケーションを身につけるため、積極的にバディやスタッフと話す。
3) 申込時では、どのような業界で働きたいと考えましたか。
教育

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1) どのような業界で実習を行いましたか。
日本語教育(大学にて)
2) 主要な実習内容を記載してください。
授業の設計についてのレッスンや見学 大学生に向けた日本語の授業の設計、実践 日本文化交流イベントの企画、実践
3) 業界、仕事内容について、イメージとの違いはありましたか。日本との違いなどを感じた場合は、どう異なっていると感じたか記載してください。
特にイメージと大きく異なったということはありませんでした。
4) プログラムや実習内容について、良かった点、悪い点(大変だった点)を記載してください。
沢山レッスンをしてくれたことや見学をさせてくれたことで、スムーズに授業を計画することができました。イベントの企画などもある程度自由にやらせてくれて、自主性を育めたのでよかったです。 スケジュールの伝達などで価値観の違いなのかルーズな部分があり、そこは大変でした。
5) プログラム参加の成果等を記載してください。

英語を使った日本語教育の実際の様子を把握できた。異なる文化的バックグラウンドの人々との交流のスキルと自信を身につけた。

英語力／コミュニケーションについて

1) 申込時の英語スコアを記載してください。

TOEIC865

2) 渡航前に語学力向上に向け、どのような取り組みを行いましたか。

単語学習やネイティブの英語表現の自己学習

3) 実習/ホームステイでのコミュニケーションや英語力の向上について、工夫したこと、成果などを自由に記載してください。

日々周りから(バディやスタッフ、友達から)新しい表現を取り入れて使ってみる。通じなくても他の表現を試し、なるべく Google 翻訳に頼らない。

留学体験記

研修や生活全般、今後の展望等について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

私がこのベトナム・インターンシッププログラムで成長したと感じる点は大きく二つです。一つ目は、日本語教育の知識と技術の向上です。授業の組み立て方や便利な教育ツールの使用方法について学び、教育のプロセス全体を理解しました。また、英語を用いて非常に異なる文化背景を持つ生徒に教える経験を通じて、コミュニケーションスキルも向上しました。

二つ目は、精神的な成長です。初の海外経験で不安やカルチャーショックに直面しましたが、柔軟性を養い、積極的に質問し、物怖じせずにハッキリと意見を述べる重要性を理解しました。これは今後の大学生活でのチームワークやコミュニケーションに役立つと感じています。今後の展望としては、教育関連の知識や技術を活かし、教育の改善に尽力する予定です。国際的な視野を持ち、異文化コミュニケーションスキルを駆使して日本語教育の国際化に貢献することを目標としています。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

留学費用項目 (申込時の料金は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	50000 円	
図書費	0 円	
学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	1300 円	現地で買った SIM 代
現地通学費	2500 円	(研修先まで車で10分)
教養娯楽費	40000 円	
被服費	2000 円	
雑費	4000 円	洗濯代
その他	2000 円	例:お土産代
その他	円	例:
合計	101800 円	

渡航準備について

1)ビザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
特になし
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 日本円5万円をベトナムで両替した。 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
空港でパディーの人に教えてもらって購入した
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
帽子、サングラス、日傘、日焼け止めなど。日差しが結構強かったのであって便利だった。

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例:研修の相談窓口、現地の友人等)
<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項: grab アプリが途中で使えなくなってしまったので、コーディネーターに相談した。
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？ その際どのように対処しましたか？
事前のオリエンテーションで紹介されたビデオを見たり、自分でネットで調べたりした。バックを前にもって、後ろにしないように意識した。
3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
ホテルでも、インターン先の職場でも Wi-Fi が特に問題なく使えた。SIM カードも不便なく使えた。

滞在形態関連

1)留学中の滞在先の種類

<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input checked="" type="checkbox"/> ホテル
2) 部屋の形態
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 2 人)
3) 共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊不可)
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
朝ごはんもついていて、毎日清掃もしてくれたので、とても快適だった。部屋もベットも広く、過ごしやすかった。相部屋なのでお互いが相手のことを配慮するのが大切。

プログラムについて

プログラム参加前について記載してください

1) どのような目的でこのプログラムに申し込みましたか。

海外に行ったことがなかったので、異文化を肌で実感したいと思っただけ。英語を実際に働きながら使ってみてみたいと思ったから。

2) 参加するにあたっての目標はありますか。

自分から積極的に話しかけたり、いろいろなことに挑戦したりしてみる。ベトナムでしかできない経験、日本との違いを体感する。

3) 申込時では、どのような業界で働きたいと考えましたか。

マーケティング関連の仕事。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1) どのような業界で実習を行いましたか。

大学

2) 主要な実習内容を記載してください。

イベントの企画、マーケティングの知識についてのリサーチ、Facebook の投稿文を考える

3) 業界、仕事内容について、イメージとの違いはありましたか。日本との違いなどを感じた場合は、どう異なっていると感じたか記載してください。

マーケティングについての仕事をもう少ししたかったが、あまりもらえなかった。日本人と違って当日に急に仕事を言われたりするものであまり計画的ではないと感じた

4) プログラムや実習内容について、良かった点、悪い点(大変だった点)を記載してください。

大学で働いて、生徒と関われる機会もあったのは良かった。あまり自分の納得のいく仕事がもらえなかったり、もともときちんとしたタスクをもらえなかったりしたのが大変だった。また、コミュニケーションがうまくいかず、意思疎通がうまくできなかったのも大変だった。

5) プログラム参加の成果等を記載してください。

今回のプログラムを通して、自分は人の役に立っている、他の人ではなく、自分がしたことによって他の人が喜んでくれているというような実感ができる仕事に就きたいと思えた。また、日本人だけではなく、他の国の人たちとも関われる仕事に就きたいと思えた。英語を使って自分の意思を伝える、といういい経験ができた。

英語力／コミュニケーションについて

1) 申込時の英語スコアを記載してください。

TOEFL66点

2) 渡航前に語学力向上に向け、どのような取り組みを行いましたか。

積極的にネイティブの先生と話す機会を作るように心掛けた。

3) 実習/ホームステイでのコミュニケーションや英語力の向上について、工夫したこと、成果などを自由に記載してください。

一週目のビジネスイングリッシュの授業で学んだことは、忘れないようにノートにまとめていた。そのおかげで実際働いていた時も見返して活用することができた。また、パディーや、コーディネーター、インターン先の大学の人たちとフリートークなどをする機会をたくさん作った。

留学体験記

研修や生活全般、今後の展望等について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

今回のインターンを通して、ベトナムの文化やベトナム人の考え方などを日本と比較しながら体感することができた。ベトナムでの生活は想像よりも便利だった。ご飯もおいしくて、私はお腹を壊すということがほぼなかったのも、そこはとても安心だった。また、ベトナム人はフレンドリーな人が多く、不安に思っていたら助けてくれたり、話しかけてくれたりして、ベトナム人のやさしさに触れることができた。これからこの経験を生かして、日本の良さ、逆に日本が他国に見習った方がいいことなどを考えていきたい。インターン先を決める際にわからないことや、不安に思っていることがあれば遠慮なく聞いていった方がいい。自分が何がしたいのか、事前に考えていくのも大切だと思う。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

留学費用項目 (申込時の料金は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	30,000 円	一日90k×35日(20,000)+カフェや少し高額な食事
図書費	0 円	
学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	1300 円	30日分(150k)+追加の5日分(50k)
現地通学費	2,500 円	(研修先まで 10分)
教養娯楽費	40,000 円	飛行機使用の旅行、ツアー参加
被服費	0 円	
雑費	0 円	
その他	6,000 円	例: スバ、ネイル
その他	円	例:
合計	約 80,000 円	

渡航準備について

1)ピザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
勤務先に関して、出発1週間前になってもコーディネーターからの連絡がなかったため、不安に思うことがあった。しかし、出国までには決定し、準備をすることが出来た。
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 現地の空港やジュエリーショップで換金 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
現地の空港で sim カードを購入 ホテル、学校、勤務先に加え、多くのカフェやレストランで Wi-Fi を使用することが出来た。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
風邪薬等の常備薬やマスク、除菌シートなどを多めに持っていった方が良いと感じた。ホテル滞在中、エアコンの使用により喉の痛みや、発熱などの症状が生じたため、準備をしてきて良かった。

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
インターネットで現地の治安を調べたり、ベトナムを訪れたことがある友達に話を聞いたりした。大金を持ち歩かないために、最低限の現金を保持し、残りはスーツケースに入れてホテルに保管していた(金庫が無かったため)。スマートフォンのマップを使用する際には、立ち止まって確認し、ながら歩きをしないように心掛けた。
3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
ネット環境に関しては、不自由なく使用することができた。多くのお店やレストランでWi-Fiが提供されており、接続に問題はなかった。しかし、現地で購入した SIM カードに問題があり、電話が繋がらないことがあった。現地のアプリ(Grab やZalo)の使用には SMS の認証が必要であるため、不備に気付いたらなるべく早く対応すべきであると思った。

滞在形態関連

1)留学中の滞在先の種類

<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input checked="" type="checkbox"/> ホテル
2) 部屋の形態
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 2人)
3) 共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊不可)
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
<p>総じて快適に過ごすことが出来た。良かった点は、毎日ベッドメイキングとタオルの交換があったこと、シャンプー・ボディソープ・ドライヤーがあったこと、近くにコンビニやレストランがあったこと、朝食がおいしかったこと、コンセントが2か所あったことなど多くある。マイナスな点は、シャワールームの扉から水が流れ出てしまうことや金庫が無いことである。生活し始めて最初のうちは戸惑うことも多いが、慣れてくれば問題なく生活することが出来た。洗濯は、ホテルにもサービスがあるが、近くのランドリーの方が安い為、そちらを利用すべき。(サービスの質は変わらない)</p>

プログラムについて

プログラム参加前について記載してください

1) どのような目的でこのプログラムに申し込みましたか。
<p>応募目的は2つある。1つ目に、私は将来海外で働きたいと考えており、本プログラムを通じて、海外で実際に働くイメージをつかみたいと考えたからである。インターンによって海外企業で働く経験を得ることは勿論、日本とは異なる仕事環境や、働き方を知り、視野を広げたいと考えた。2つ目の理由は、ビジネスで使われる実践的な英語力を身に付けたかったからである。</p>
2) 参加するにあたっての目標はありますか。
<ul style="list-style-type: none"> ・マーケティングスキルや、ビジネスイングリッシュを身に付ける ・現地の人々と積極的にコミュニケーションをとる ・ベトナムの文化を知る
3) 申込時では、どのような業界で働きたいと考えましたか。
<p>業界は絞っていなかったが、マーケティング業務を経験したいと考えていた。</p>

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1) どのような業界で実習を行いましたか。
<p>様々な顧客のニーズに応える、幅広いサービスを提供するソフトウェアカンパニーのマーケティング部門で実習を行った。企業の事業内容は、アプリ開発、コワーキングスペースの提供、学生向けITスクールの運営、起業をしたい人が投資家などとコネクションを作ることが出来るプラットフォームの提供などである。</p>
2) 主要な実習内容を記載してください。
<p>企業紹介資料やホームページの日本語訳 Twitter、LINE アカウントの開設・運用、TikTok 用動画の編集 顧客調査や、競合他社の分析</p>
3) 業界、仕事内容について、イメージとの違いはありましたか。日本との違いなどを感じた場合は、どう異なっていると感じたか記載してください。
<p>マーケティングというと、顧客や市場に関する調査や分析を行なうイメージがあったが、主に任された業務が SNS 運用などの広告分野であったため、予想と異なっていた。SNS は運用目的が明確でなく、自分たちで戦略を立てる必要があった。日本では、会社全体で方針が決まっているイメージが強いため、学生の自分たちが自由に運用できる環境に驚いた。</p>
4) プログラムや実習内容について、良かった点、悪い点(大変だった点)を記載してください。
<p>【良かった点】1週目に FPT 大学でビジネス英語を学び、インターン開始前に英語で話す環境に慣れることが出来た。方法を教えられないままいきなり Twitter アカウントを開設したり、顧客や他社の分析資料を作ったりすることになったが、自分で調べることで、知識を身に付けることができたと思う。</p> <p>【悪かった点】上司が忙しく、業務を割り当てられないことがあった。</p>
5) プログラム参加の成果等を記載してください。

自分自身が得たものとしては、IT 企業のサービスやその仕組み、企業 SNS の運用方法、他企業分析プロセスに関する知識に加え、日常会話程度の英語力を身に付けることができた。会社に対する成果は、英語資料やホームページの日本語訳を行なったことである。2 日目に翻訳した企業紹介の資料が、その日のうちに日本の顧客に送信されたことには驚いたが、会社と日本の顧客とをつなぐきっかけをつくることができた。

英語力／コミュニケーションについて

1) 申込時の英語スコアを記載してください。

TOEIC 815 点

2) 渡航前に語学力向上に向け、どのような取り組みを行いましたか。

ビジネス系の海外ドラマを視聴し、発音練習や語彙向上のために台詞を真似したり、知らない単語の意味を調べたりした。また、TOEIC 対策の単語帳を用いて単語を覚えた。

3) 実習/ホームステイでのコミュニケーションや英語力の向上について、工夫したこと、成果などを自由に記載してください。

実習先では積極的に社員の方と話すことを心掛けていた。実習中に分からないことがあったらすぐに質問することは勿論、休憩中に他の社員の方と一緒に昼食をとったり、お菓子を食べたりして、交流を深めた。社員の中には、日本のアニメや漫画が好きな方がいたため、相手から話しかけてもらうことも多かった。こうした会話のきっかけを大切に、なるべく会話を続けることを心掛けた。

留学体験記

研修や生活全般、今後の展望等について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

研修、娯楽共に充実した期間を過ごすことができた。研修先はアットホームな雰囲気、仕事の合間にお菓子をくれたり、ミニゲームを行なったりした。業務内容は、主に SNS の運用であり、日本の顧客を増やすために会社・サービス紹介の投稿を作成したり、インターン生としての自分たちを紹介する動画を作成したりした。私は、マーケティング(企業・市場分析などをイメージしていた)を志望しインターンに参加したが、いきなり twitter や LINE の開設を任されたため、自分の志望業務とのギャップを感じた。そこで、クライアントや競合のリサーチを行ないたい旨を伝えると、顧客になりえる企業の要約や、競合他社の分析などを任せてもらうことができた。この経験から、インターン前には、何をしたいのか、そこから自分が何を学びたいのかを明確にし、きちんと企業側に主張することが大切であると思った。結局最後まで携わった SNS 運用はインターン前には予想していなかった業務であるが、advertising として会社のことを正しく伝えるために、IT サービスの種類や仕組みを調べることを通じて、IT 業界に関する知識を身に付けることができたと思う。この点で、非常に実りのある研修であった。今後は、SNS を使用したマーケティングについて詳しく学んでいきたい。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

留学費用項目 (申込時の料金は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	22,000 円	
図書費	0 円	
学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	1,600 円	SIM
現地通学費	2,700 円	(研修先まで 5~10分) Grab バイク
教養娯楽費	9,000 円	
被服費	2,000 円	洗濯料金
雑費	25,000 円	お土産や日用品
その他	3,500 円	例: 通勤以外の交通費
その他	39,000 円	例: 2泊3日の旅行(宿泊費、交通費、食費、観光費、雑費等全て含む)
合計	104,800 円	

渡航準備について

1)ピザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
業者に依頼するかたちだったため、特になかったです。
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 到着後空港で日本円を両替、ATM で引き落とし その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input checked="" type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
現地到着後、空港で SIM を購入
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
ウエットティッシュ(無料で提供してくれるレストランは稀)、UV カットの長袖のアウター(日差しがとても強い)

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等: 現地のコーディネーターの方) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
気を張りつつ、堂々と振る舞うことが一番の対策だと思います。
3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
特に問題なし。SIM の延長をしなくてはいけなくなった際は、現地のコーディネーターさんが代わりに手続きをしてくださりました。

滞在形態関連

1)留学中の滞在先の種類

<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input checked="" type="checkbox"/> ホテル
2)部屋の形態
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 2人)
3)共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊不可)
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
滞在先のホテルは、可もなく不可もなくという感じでした。また、ルームメイトに関しては同じプログラムに参加している明治大学の学生との相部屋になるので、特に問題は起こらないと思います。

プログラムについて

プログラム参加前について記載してください

1)どのような目的でこのプログラムに申し込みましたか。

①学業や語学習得目的ではない留学をしたかった②英語圏以外の国に訪れてみたかった、という2つの条件に合致し、ベトナムという国自体にも興味を惹かれたため、このプログラムに申し込みました。

2)参加するにあたっての目標はありますか。

現地の企業で就業体験を自身の適性を知る一助とすることに加え、海外で働く際に求められるスキルを学び、考える機会にしたいと考えています。また、初めて訪れるベトナムという土地で様々な経験をすることで自身の視野を広げ、新たな感覚を吸収する時間にしたいです。

3)申込時では、どのような業界で働きたいと考えましたか。

営業、人事

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)どのような業界で実習を行いましたか。

ホテル

2) 主要な実習内容を記載してください。

レストラン: レストランの受付、ビュッフェの片付け・セッティング、イベント時のテーブルセッティング・片付け
 人事: 労働時間の確認、CVの確認と情報入力、お客様のレビューの確認

3)業界、仕事内容について、イメージとの違いはありましたか。日本との違いなどを感じた場合は、どう異なっていると感じたか記載してください。

仕事内容は、事前に受け取っていたジョブディスクリプションに概ね準じていたためイメージとのギャップは特にありませんでした。

4) プログラムや実習内容について、良かった点、悪い点(大変だった点)を記載してください。

英語でコミュニケーションをとることができる従業員がほとんどいなかったため、コミュニケーションをとるのは楽ではありませんでした。しかしながら、同僚の方々は例外なく皆親切だったため、とても救われました。

5) プログラム参加の成果等を記載してください。

当初、共通言語を持たない相手との関係構築は困難であるように思いましたが、相手を知ろうとする姿勢を示すことが何よりも重要であると学びました。また、週5日のフルタイムで働く経験をし、将来職業を選択する上で重要視したいことや、自分の向き不向きを少しだけ見つけることができた気がします。

英語力／コミュニケーションについて

1) 申込時の英語スコアを記載してください。

TOEIC 850

2) 渡航前に語学力向上に向け、どのような取り組みを行いましたか。

ベトナムのアクセントに慣れるため、動画を数回視聴しました。

3) 実習/ホームステイでのコミュニケーションや英語力の向上について、工夫したこと、成果などを自由に記載してください。

英語力の向上を一番の目的とするのならば、このプログラムには申し込まない方がいいと思います。インターンシップ内で生きた英語を使うことを期待していましたが、ほとんどの同僚が英語を得意としていなかったため、そうはいきませんでした。しかしながら、ある程度こうなることは予測していましたが、英語力の向上に重きを置いていなかったためショックは少なかったです。逆に、こうした環境下で効果的にコミュニケーションをとる方法を模索し、実践することができたことに価値があったと考えています。

留学体験記

研修や生活全般、今後の展望等について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

素晴らしい経験をすることができた1か月間だったと思います。何よりも、現地の FPT 大学のコーディネーターさんやバディの学生のサポートが手厚く、何も不自由することなく生活をすることができました。また、インターン先の方々にもとても良くしていただき、総じて人に恵まれたベトナム生活でした。食に関しては、ベトナム料理もおいしく食べることもできたことに加え、近隣には日本、韓国、アメリカ等様々なジャンルのレストランもあり、苦労することは一切ありませんでした。さらに、休日には観光ツアーに参加するなど、インターンシップの以外でも充実した日々を送ることができました。他国で働くことに興味があり、何か新しいことにチャレンジしたい学生にはおすすめのプログラムだと思います。